

**Works
Report**

2010

**国内経営学系大学院
修了生に関する調査
報告書**

Works Institute

国内経営学系大学院 修了生に関する調査

国内経営学系大学院修了生に関する調査 目次

Part0 調査概要	3
Part1 単純集計表	
地域	6
性別	6
年齢	6
就業経験の有無と転職回数	6
就業形態	6
大学院入学前の職業経験期間	6
入学前の勤務先の業種(大分類)	7
入学前最長の勤務先の業種(大分類)	7
現在の勤務先の業種(大分類)	7
勤務先の従業員規模	7
勤務先は外資系企業かどうか	7
現在の勤務先での勤続年数	7
現在の職場満足度	8
入学(直)前の職種	8
入学(直)前の職種での経験期間	8
入学前最長の職種	8
入学前最長の職種での経験期間	8
現在の職種	8
現在の職種での経験期間	8
仕事満足度	8
仕事を通じた成長実感	9
入学前における「一生の仕事」の決定	9
卒業直後における「一生の仕事」の決定	9
卒業直後に決めた「一生の仕事」と、現在の 仕事の合致	9
仕事の段階	9
職務の大きさのレベル	9
職務の遂行のレベル	9
職務における関係者の範囲	9
職務における関係者との人間関係	9
将来の働き方の意向	10
博士課程への入学意向	10
年収	10
役職	10
処遇等の変化	10
大学院入学の年月と年齢	11
入学した大学院の職業経験に関する入学条件と その職業経験年数	11
大学院選定理由	11
大学院費用の勤務先の負担の程度	12
大学院費用の自己負担額	12
在学中の仕事の有無	12
入学から卒業までの期間	12
通学時間帯	12
在学中の学業の時間	13
授業への出席率	13
大学院の学習内容と仕事内容の合致度	13
大学院での学習姿勢	14
修士論文の作成の有無	14
修士論文の執筆状況	14
大学院での学習の満足度	14
大学院への入学目的	15
大学院での学習成果	15
大学院での学習による意識等の変化	16
持っている能力	16
大学院で高めた能力	16
持っている知識・スキル等	17
大学院で高めた知識・スキル等	17
大学院で得た人的ネットワークの活用程度	17
大学院の専攻	17
大学院の卒業年月	17
大学院入学前の最終学歴	18
大学院入学前の最終学歴の卒業年月	18
大学院入学前の最終学歴の専攻	18
配偶者の有無	18
子どもの有無	18
Part2 クロス集計表(入学目的、大学院満足度、学習成果、意識等の変化、基礎力の変化)	
入学年齢別	20
入学(直)前の役職別	25
大学院費用負担別	30
大学院専攻別	39
入学目的別	44
学習姿勢別	47
修士論文の作成の有無別	50

調査概要

●目的

社会人が経営学系大学院で学習した効果の探索

●調査対象母集団

首都圏および関西主要都市に拠点を置く、経営学系大学院博士前期課程(修士課程)の修了生

●調査対象

上記の調査対象母集団にあてはまる15の研究科を調査開始時点で卒業した者(研究科または研究科同窓会組織が把握しているすべて)。なお、一部の研究科では、修了生のうち、社会人入学した者にのみ調査への回答を依頼した。

●サンプル数

792名(実対象数は3784で、回収率は20.9%)

本報告書では、研究科または研究科同窓会組織が回答依頼できる全ての卒業生に回答依頼できていない場合は除き、777名で集計した。

●調査期間

2011年1月29日～2月27日

●調査方法

インターネット調査

※本報告書の単純集計表とクロス集計表のn(人数)の列を除いた数字の単位は、すべて%(パーセント)である。

単純集計表

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■地域

(単一回答)

北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方	無回答
0.5	0.4	72.8	4.1	20.1	0.6	0.5	0.9	0.0

■性別

(単一回答)

男性	女性	無回答
88.3	11.7	0.0

■年齢

(単一回答)

19歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	無回答
0.0	0.3	7.0	17.5	29.6	23.2	14.7	5.7	1.4	0.6	0.1

■下記において、働いていたことがありますか。働いていたことがある方は、勤め先が変わった回数も合わせてお答えください。

(単一回答)

	勤め先を変 わっていない	1回変わ った	2回変わ った	3回変わ った	4回変わ った	5回以上変 わった	まったく仕 事に就いて いない	無回答
大学院修士課程に入学する以前	63.8	19.2	6.6	2.4	1.4	0.6	5.9	0.0
大学院修士課程に在学中	76.6	12.0	1.2	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0
大学院修士課程を修了して以降	76.3	17.2	3.9	1.0	0.1	0.0	1.4	0.0

■下記における就業形態について、お答えください。

※契約社員とは、給与や期間などの個別の雇用(労働)契約を結んで働く社員を指します。

※業務委託とは雇用関係がなく、特定の取り決めに基づき仕事の依頼を受ける働き方を指します。

(単一回答)

	正社員・正 職員	契約社員	嘱託	フリーター (社会人ア ルバイト ター)	パートタイ マー	派遣	業務委託 (一社専属)	業務委託 (複数社と 契約)	無回答
大学院修士課程入学(直)前	88.0	0.4	0.0	0.8	0.3	0.3	0.1	0.0	
大学院修士課程入学前の最長	89.8	0.3	0.0	0.9	0.0	0.1	0.1	0.0	
現在	86.4	0.6	0.0	0.5	0.1	0.1	0.0	0.5	
	経営者・役 員	自営・自営 手伝い	専業主婦	家事手伝 い・内職	無職	学生	その他	無回答	
大学院修士課程入学(直)前	2.8	0.9	0.1	0.0	1.2	5.0	0.1	0.0	
大学院修士課程入学前の最長	2.1	0.9	0.0	0.0	0.1	5.7	0.0	0.0	
現在	6.7	2.7	0.1	0.0	1.0	0.6	0.5	0.0	

■大学院修士課程へ入学する前の職業経験の期間をお答えください。

※例えば、3年0か月の場合は、年に3を、月に0を入力してください。

(単一回答)

5年未満	5～10年未 満	10～15年未 満	15～20年未 満	20～25年未 満	25～30年未 満	30年以上	無回答
9.9	29.5	25.9	16.3	8.0	2.8	1.2	6.4

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■大学院修士課程入学(直)前における勤務先の業種は何ですか。
※業種が複数にまたがる場合は、主な方をお選びください。

(単一回答)

農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業
0.0	0.0	1.5	31.8	2.4	12.1	3.1	6.4	18.5
不動産業	飲食店、宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援	サービス業	公務	他に分類されないもの	無回答	
2.3	0.8	1.4	1.8	8.4	1.3	1.7	6.4	

■大学院修士課程入学前の最長の業種は何ですか。
※業種が複数にまたがる場合は、主な方をお選びください。

(単一回答)

農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業
0.0	0.0	1.8	31.9	2.3	11.5	3.2	6.3	20.5
不動産業	飲食店、宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援	サービス業	公務	他に分類されないもの	無回答	
2.1	1.3	1.4	1.8	7.0	1.4	1.8	5.8	

■現在の業種は何ですか。
※業種が複数にまたがる場合は、主な方をお選びください。

(単一回答)

農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業
0.1	0.3	1.4	31.1	2.6	10.7	3.2	5.5	17.8
不動産業	飲食店、宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援	サービス業	公務	他に分類されないもの	無回答	
1.9	0.4	1.4	2.3	14.3	1.7	3.0	2.3	

■下記における勤務先の従業員数(常用雇用のアルバイト・パートを含む人数)は、企業・組織全体で何人くらいですか。

(単一回答)

	0人(事業主一人)	4人以下	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100~299人
大学院修士課程入学(直)前	0.4	0.6	1.3	3.0	1.5	1.8	3.1	7.5
大学院修士課程入学前の最長	0.3	0.6	1.0	1.7	1.0	1.2	2.7	6.6
現在	2.1	2.3	2.7	1.9	1.7	2.2	3.7	8.2
	300~499人	500~999人	1000~1999人	2000~4999人	5000人以上	公務(官公庁)	無回答	
大学院修士課程入学(直)前	4.1	7.6	9.9	11.2	40.7	0.9	6.4	
大学院修士課程入学前の最長	3.7	7.2	10.6	13.1	43.5	1.0	5.8	
現在	3.5	8.1	8.0	11.3	40.7	1.3	2.3	

■下記において勤務していた企業は外資系ですか。

(単一回答)

	外資系企業である(だった)	外資系企業ではない(でなかった)	無回答
大学院修士課程入学(直)前	13.6	79.9	6.4
大学院修士課程入学前の最長	13.3	81.0	5.8
現在	14.9	82.8	2.3

■現在勤務している会社は、勤続何年目ですか。

(単一回答)

1~2年未満	2~3年未満	3~4年未満	4~5年未満	5~7年未満	7~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20~30年未満	30年以上	無回答
10.2	5.9	8.6	6.4	10.2	7.2	19.3	14.4	14.5	0.9	2.3

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■あなたは、現在の職場に満足していますか。現在、派遣で働いている方は、この質問については、派遣先の現在の職場についてお答えください。

(単一回答)

とても満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	とても不満である	無回答
17.1	43.1	23.9	8.8	4.8	2.3

■大学院修士課程入学(直)前における職種は何ですか。あてはまるものをお選びください。

(単一回答)

サービス職	保安・警備職	農林漁業関連職	運輸・通信関連職	生産工程・労務職	管理職	事務・営業・販売職	専門職・技術職	分類不能の職業	無回答
0.8	0.0	0.0	0.1	0.4	12.5	45.0	31.8	3.0	6.4

■その職種での経験期間はどれくらいですか。

※例えば、3年0か月の場合は、年に3を、月に0を入力してください。

(単一回答)

3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満
0.0	0.4	1.2	3.5	8.1	9.4	7.2
5～7年未満	7～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
14.2	15.7	18.8	10.7	4.1	0.4	6.4

■大学院修士課程入学前の最長の職種は何ですか。あてはまるものをお選びください。

(単一回答)

サービス職	保安・警備職	農林漁業関連職	運輸・通信関連職	生産工程・労務職	管理職	事務・営業・販売職	専門職・技術職	分類不能の職業	無回答
1.0	0.0	0.0	0.3	0.3	4.5	49.8	35.3	3.1	5.8

■その職種での経験期間はどれくらいですか。

※例えば、3年0か月の場合は、年に3を、月に0と入力して下さい。

(単一回答)

3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満
0.0	0.0	0.4	1.4	3.0	7.1	5.9
5～7年未満	7～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
14.3	20.2	25.5	11.5	4.6	0.4	5.8

■現在における職種は何ですか。あてはまるものをお選びください。

(単一回答)

サービス職	保安・警備職	農林漁業関連職	運輸・通信関連職	生産工程・労務職	管理職	事務・営業・販売職	専門職・技術職	分類不能の職業	無回答
0.5	0.0	0.1	0.4	0.0	17.8	40.9	34.4	3.6	2.3

■その職種での経験期間はどれくらいですか。

※例えば、3年0か月の場合は、年に3を、月に0を入力してください。

(単一回答)

3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満
2.8	3.1	5.3	11.6	10.0	11.2	6.2
5～7年未満	7～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
13.0	9.0	13.3	7.5	4.6	0.1	2.3

■あなたは現在の仕事に、全体としてどの程度満足していますか。

(単一回答)

とても満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	とても不満である	無回答
16.3	44.4	23.3	9.3	4.4	2.3

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■あなたは、現在の仕事を通じて、「成長している」という実感を、どの程度持っていますか。

(単一回答)

強く持っている	持っている	どちらともいえない	あまり持っていない	持っていない	無回答
18.1	49.7	15.4	10.8	3.6	2.3

■大学院修士課程へ入学する前の段階で、一生の仕事(分野)を決めていましたか。

(単一回答)

はい	いいえ
35.7	64.4

■大学院修士課程を卒業した直後で、一生の仕事(分野)を決めていましたか。

(単一回答)

はい	いいえ
40.7	59.3

■大学院修士課程を卒業した直後に決めた一生の仕事(分野)は、現在の仕事(分野)ですか。

(単一回答)

はい	いいえ	無回答
33.2	7.2	59.6

■あなたは現在の仕事(分野)において、どの段階まで達していると、上司や顧客から思われていますか。

下記の段階のうち、最も近いと思われるものをお選びください。

(単一回答)

第1段階. 仕事の基本ややり方を習得しつつある段階	第2段階. ひとり立ちしている段階	第3段階. 常に、期待以上の成果をあげ続けている段階	第4段階. 自分ならではの知識や技術、やり方が高く評価されている段階	第5段階. その道をきわめ、第一人者として社会的に広く認められている段階	無回答
9.0	19.4	21.4	40.7	7.2	2.3

■あなたが目標達成や問題解決の責任を負っている職務の大きさはどのレベルですか。

下記の段階のうち、最も近いと思われるものを選んでください。

(単一回答)

日常業務の改善レベル	やや日常業務の改善レベル	どちらともいえない	やや経営の変革レベル	経営の変革レベル	無回答
5.4	10.8	32.8	27.8	20.8	2.3

■あなたは、その職務をどの程度のレベルでできていると思いますか。

下記の段階のうち、最も近いと思われるものを選んでください。

(単一回答)

とても高いレベルでできている	高いレベルでできている	できている	どちらともいえない	あまりできていない	無回答
6.7	31.9	42.1	14.3	2.7	2.3

■あなたはその職務において、社内外のどの範囲の人たちと関わっていますか。

下記の段階のうち、最も近いと思われるものを選んでください。

(単一回答)

特定の部署の少数の人と	やや特定の部署の少数の人と	どちらともいえない	やや様々な部門の多くの人々や社外の多様な人たちと	様々な部門の多くの人々や社外の多様な人たちと	無回答
4.6	12.5	17.8	31.8	31.0	2.3

■あなたは、その人たちと関わるにあたり、関係者との信頼関係をつくり、良い影響を与えることが、どの程度できていると思いますか。

(単一回答)

とても高いレベルでできている	高いレベルでできている	できている	どちらともいえない	あまりできていない	無回答
7.1	31.9	46.3	10.6	1.8	2.3

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■あなたはこれからどのような働き方をしたいと考えていますか。

(単一回答)

現在の職場で働き続けて、高い役職に就きたい	現在の職場で働き続けて、専門性を高めたい	別の企業・組織に転職し、高い役職を目指したい	別の企業・組織に転職し、専門性を高めたい	自分でビジネスを営みたい	大学や学術研究機関等の研究者になりたい	その他	無回答
28.6	19.2	13.9	10.7	14.9	4.2	6.2	2.3

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった

■現在、大学院博士課程へ入学したいと考えていますか。

(単一回答)

すでに、卒業した	現在、在学している	いずれ、入学したい	入学は考えていない
10.6	3.3	30.6	55.5

■下記における年収を税込の実績でお教えてください。

昨年の年収の場合は2009年4月から2010年3月末までの税込の実績のように、一昨年度の実績でお答えください。

※臨時収入、副収入は除いてお答えください。

(単一回答)

	100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満
大学院修士課程入学(直)前の1年間	0.8	0.4	1.2	1.7	6.3	11.1	10.9
大学院修士課程修了後の1年間	1.7	0.9	0.8	2.4	5.9	8.9	12.0
昨年	3.3	0.6	0.9	1.9	3.7	7.7	9.0
	700万円以上800万円未満	800万円以上900万円未満	900万円以上1000万円未満	1000万円以上1200万円未満	1200万円以上1500万円未満	1500万円以上	無回答
大学院修士課程入学(直)前の1年間	13.8	13.1	10.3	12.5	8.0	4.1	5.9
大学院修士課程修了後の1年間	11.6	13.3	10.8	15.4	8.6	6.3	1.4
昨年	11.3	12.6	9.1	18.4	13.0	8.2	0.0

■下記における勤務先での役職は、次のどれにあてはまりますか。名称が異なる場合も、職階(職位)が近いと思われるものをお選びください。

※ここでの専門職は、営業、技術、事務など、すべての分野を含みます。※出向中の場合は、本社の役職をお答えください。

(単一回答)

	部長クラスの管理職	部長クラスと同待遇の専門職	課長クラスの管理職	課長クラスと同待遇の専門職	係長・主任クラスの管理職	係長・主任クラスと同待遇の専門職	役職にはまだついていない(いなかった)	無回答
大学院修士課程入学(直)前	7.9	2.6	13.6	10.0	16.1	14.9	24.3	10.6
大学院修士課程入学前の最長	7.1	2.3	12.5	8.5	16.6	17.6	26.4	9.0
現在	11.5	5.7	17.4	12.6	11.3	13.5	15.7	12.4

■大学院修士課程修了後に、下記の変化を経験しましたか。

(単一回答)

	経験した	経験しなかった	無回答
部門異動	42.1	55.6	2.3
昇進	43.6	54.1	2.3
年収増加	56.1	41.6	2.3
転職	21.5	76.2	2.3
独立・開業	5.4	92.3	2.3

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

- 大学院修士課程へ入学したのは、何年の何月でしたか。(4ケタの西暦でお答えください)またその時の年齢も教えてください。
 ※大学院修士課程へ入学する前の最終学歴から、大学院修士課程入学までの期間を集計している。

(単一回答)

3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満
5.7	0.0	0.5	1.4	1.9	4.0	3.7
5～7年未満	7～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
10.4	20.3	15.2	24.2	11.1	0.9	0.6

- 大学院修士課程へ入学した年齢

(単一回答)

18歳未満	19-22歳	23-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳
0.0	2.1	4.4	18.4	28.8	25.9	12.2
45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	無回答
6.3	1.2	0.6	0.1	0.0	0.0	0.0

- あなたが入学した修士課程では、入学に際して以下のような職業経験に関する条件が求められましたか。

2、3を選んだ方は、職業経験年数も条件にありましたら、お答えください。

(複数回答)

1. まったく求められなかった	2. 特定の職業経験をもっていること	3. 特に分野を限定しないが、職業経験をもっていること	4. 職場からの推薦	5. その他
44.8	5.8	37.5	20.6	4.8

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった

特定の職業経験をもっていること

(単一回答)

1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	無回答
0.0	1.0	2.7	0.9	0.0	95.4

特に分野を限定しないが、職業経験をもっていること

(単一回答)

1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	無回答
0.0	7.0	17.0	3.1	0.1	72.8

- 多くの大学院修士課程のなかで、卒業された大学院を選ぶ際に重視したことは何でしたか。

(複数回答)

場所が便利だった	教員が魅力的だった	同級生などとの人的交流が魅力的だった	講義が魅力的だった	ゼミが魅力的だった	有名な大学の大学院だった	学費が安かった
68.6	66.7	32.0	62.0	15.8	46.7	29.3
設備が整っていた	開講の時間帯が合っていた	入試方法が合っていた	勤務先から指定されていた	卒業生からの情報や評判が高かった	そこにしか受からなかった	その他
18.0	58.2	20.7	9.1	17.8	1.9	8.2

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった

さらに、その中で最も重要なものを1つお答えください。

(単一回答)

場所が便利だった	教員が魅力的だった	同級生などとの人的交流が魅力的だった	講義が魅力的だった	ゼミが魅力的だった	有名な大学の大学院だった	学費が安かった
10.6	22.0	4.9	21.1	1.7	10.8	2.6
設備が整っていた	開講の時間帯が合っていた	入試方法が合っていた	勤務先から指定されていた	卒業生からの情報や評判が高かった	そこにしか受からなかった	その他
0.3	13.6	0.9	4.9	1.5	0.1	5.0

「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を勤務先に負担してもらいましたか。

(単一回答)

勤務先に費用をすべて負担してもらった	勤務先に費用を一部負担してもらった	勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	無回答
12.2	9.7	71.7	6.4

■大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を、どのくらい自己負担で賄いましたか。

(単一回答)

50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350万円以上	無回答
3.5	4.6	14.9	10.6	6.3	12.0	13.6	15.8	18.7

■大学院修士課程在学中に仕事はしていましたか。

※在学途中に勤務時間等の程度を変えた場合は、最も長い期間に当たる勤務状況をお答えください。

(単一回答)

仕事をしていました	仕事をしていなかった
85.2	14.8

■大学院修士課程を、何年何カ月かけて修了しましたか。

※例えば、3年0か月の場合は、年に3を、月に0を入力してください。

(単一回答)

1年未満	1年0カ月	1年1か月以上2年未満	2年0カ月	2年1か月以上3年未満	3年0カ月	3年1か月以上4年未満	4年0カ月	4年1カ月以上
0.1	3.1	17.6	63.4	4.1	5.9	3.6	0.8	1.3

■どのような時間帯に大学院修士課程に通学しましたか。

(複数回答)

平日昼間	平日夜間	土日昼間	土日夜間	集中講義などが設定された特定の期間
14.3	74.0	70.5	32.3	18.7

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■大学院修士課程在学中に、学業のために使った時間を、それぞれ1週間当たりの合計時間でお答えください。
 ※平均的な週を想定し、1時間未満は四捨五入してください。

(単一回答)

	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 5時間未満	5時間以上 7時間未満	7時間以上10 時間未満	10時間以上 15時間未満	15時間以上 20時間未満
授業、ゼミ などの出席時間	0.3	0.4	2.8	6.3	2.4	11.6	12.4	34.6	16.7
学業のために自分 で学習する時間	0.0	0.0	1.5	4.4	3.5	11.7	5.5	29.2	12.1
同級生などとの交流などに 使う時間	3.1	17.9	23.4	16.7	10.8	17.6	3.0	5.7	1.0
通学に要する往復の移動時間	8.9	18.9	19.9	14.5	9.5	12.1	5.5	7.6	1.3
	20時間以上 25時間未満	25時間以上 30時間未満	30時間以上 35時間未満	35時間以上 40時間未満	40時間以上 45時間未満	45時間以上 50時間未満	50時間以上	無回答	
授業、ゼミ などの出席時間	7.9	0.9	1.9	0.5	0.5	0.1	0.6	0.0	
学業のために自分 で学習する時間	16.5	3.0	4.4	2.1	2.3	0.5	3.3	0.0	
同級生などとの交流などに 使う時間	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	
通学に要する往復の移動時間	0.8	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	

■履修登録した授業への出席率は、平均何割程度でしたか。

(単一回答)

1割未満しか出席 できなかった	1~2割程度しか 出席できなかった	3~4割程度出席 した	5~6割程度出席 した	7~8割程度出席 した	8割以上出席した
0.0	0.0	0.1	1.3	10.2	88.4

■大学院修士課程での学習等は、下記における仕事内容と、どの程度関連していますか。
 大学院修士課程入学(直)前の仕事内容と、下記の学習等との関連

(単一回答)

	密接に関連し ている	ある程度関連 している	関連していない	無回答
座学形式の授業	21.6	51.1	20.8	6.4
ディスカッション形式の授業・ゼミ	27.7	46.8	19.0	6.4
教員との交流・教員の個人指導	22.7	43.9	27.0	6.4
学生間の交流	13.4	44.1	36.0	6.4

現在の仕事内容と、下記の学習等との関連

(単一回答)

	密接に関連し ている	ある程度関連 している	関連していない	無回答
座学形式の授業	30.4	49.9	17.4	2.3
ディスカッション形式の授業・ゼミ	37.3	47.4	13.0	2.3
教員との交流・教員の個人指導	28.2	47.4	22.1	2.3
学生間の交流	19.9	49.6	28.2	2.3

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■以下の項目は、あなたの大学院修士課程での学習姿勢にどの程度あてはまりますか。

(単一回答)

	かなりあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
座学形式の授業を熱心に受講した	59.7	28.4	8.2	3.6
ディスカッション形式の授業・ゼミで積極的に発言した	52.8	34.4	11.6	1.3
与えられたレポートや課題を着実にこなした	73.6	23.2	3.1	0.1
授業以外でも教員に対して、積極的に質問や意見交換を行った	35.3	39.1	23.4	2.2
教員に紹介された参考文献を進んで読んだ	43.8	40.8	14.0	1.4
予習・復習などのため、自分一人ですっかり学習した	53.0	36.6	9.8	0.6
予習・復習などのため、同級生などと一緒に学習した	33.5	37.3	22.8	6.4
学習以外でも、同級生などと積極的に交流した	44.5	36.2	16.5	2.8
ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した	35.7	33.1	24.7	6.6
大学院の図書館・コンピュータ端末などの施設を積極的に利用した	40.0	33.5	19.4	7.1

■修士論文(修了レポート形式も含む)に、在学中取り組みましたか。

(単一回答)

修了要件だったので、取り組んだ	修了要件ではなかったが、取り組んだ	取り組んでいない
68.7	12.4	18.9

■修士論文(研究レポートを含む)の執筆状況について、以下の項目は、どの程度あてはまりますか。

(単一回答)

	かなりあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
指導教員が論文(研究レポートを含む)の執筆を綿密に指導してくれた	49.8	22.3	6.6	2.4	18.9
指導教員が実務家出身というように現場経験が豊かだった	30.2	17.4	19.8	13.6	18.9
一般学生と同等以上の高い水準の論文を社会人に対しても要求された	38.7	27.7	12.9	1.8	18.9
職業経験を生かした実践的内容の論文を書いた	43.5	20.2	11.3	6.0	18.9
同級生らと討議し探究を深めた	38.5	26.3	12.2	4.1	18.9
研究テーマや研究材料に、自分の仕事に関連するものを用いた	47.0	18.0	8.9	7.2	18.9

■修了された大学院修士課程での学習等の各項目について、満足されましたか。

(単一回答)

	非常に満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない
教員	69.9	26.9	2.6	0.6
同級生	61.5	31.9	5.0	1.5
カリキュラム(授業、ゼミなど)	51.5	43.5	4.1	0.9
設備	35.3	52.9	9.5	2.3
キャリアに関するセミナー・個別相談	10.6	35.1	35.4	18.9

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■大学院修士課程への入学目的をお答えください。

(複数回答)

仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)を身につけるため	論理的にものごとを考える力を高めるため	仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	教養を深めるため	これまでの仕事経験を理論的に整理するため	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	
65.4	65.6	75.5	52.6	55.3	59.8	
入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	転職や独立開業に役立てるため	大学等の研究者になるため	修士卒という肩書を得るため	資格取得のため	「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	その他
15.2	30.4	4.9	37.1	14.0	7.3	5.0

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった

さらに、その中で最も重要な目的を1つお答えください。

(単一回答)

仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)を身につけるため	論理的にものごとを考える力を高めるため	仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	教養を深めるため	これまでの仕事経験を理論的に整理するため	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	
8.8	10.6	34.2	4.6	16.2	4.1	
入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	転職や独立開業に役立てるため	大学等の研究者になるため	修士卒という肩書を得るため	資格取得のため	「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	その他
1.0	6.2	0.9	5.8	2.8	2.2	2.6

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった

■大学院修士課程で学習することによって、得られたもの・達成したのを選んでください。

(複数回答)

仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)が身についた	論理的にものごとを考える力が高められた	仕事に必要な専門的な知識や技術が身についた	教養が深められた	これまでの仕事経験を理論的に整理することができた	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた	
66.0	72.2	70.4	66.2	53.8	69.9	
入学時に在籍していた会社での処遇が向上(昇進・昇給)した	転職や独立開業に役立った	大学等の研究者になれた	資格が取得できた	その他		
14.7	15.3	1.7	17.4	2.6		

※P.10下部に掲載した表「処遇等の変化」にあるように、実際修了後に、昇進・年収増加、転職・独立開業を経験した人が少ないために、大学院の学習によって、処遇等の向上に役立ったと答えた人も少なくなっている

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■大学院修士課程で学習することによって、以下の変化はありましたか。

(複数回答)

自分に対して自信が ついた	周囲からの評価が 上がった	将来のキャリアパスが 明確になった	視野が広がった	考え方が柔軟にな った	仕事の効率が上 がった	仕事への意欲 が高まった
73.4	43.5	28.2	82.8	59.3	31.9	37.7
仕事以外のブ ライベートが充 実した	自分の職場や職 業経験を客観的に 見直すことがで きた	現在勤務する組 織への帰属意識 が高まった	成長実感を得られ た	雇用不安が解消 された	学習習慣が身に 付いた	その他
34.6	64.0	6.8	61.3	6.2	47.4	1.9

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった

さらに、その中で最も重要だと考える変化があったと思うものを1つ選んでください。

(単一回答)

自分に対して自信が ついた	周囲からの評価が 上がった	将来のキャリアパスが 明確になった	視野が広がった	考え方が柔軟にな った	仕事の効率が上 がった	仕事への意欲 が高まった
26.5	3.5	7.0	27.5	6.2	1.2	1.8
仕事以外のブ ライベートが充 実した	自分の職場や職 業経験を客観的に 見直すことがで きた	現在勤務する組 織への帰属意識 が高まった	成長実感を得られ た	雇用不安が解消 された	学習習慣が身に 付いた	その他
3.2	10.7	0.1	4.9	0.6	5.8	1.0

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった

■現在、仕事を進めるにあたって、あなたは以下の能力をどの程度持っていると思いますか。

(単一回答)

	十分持っている	持っている	どちらともい えない	あまり持っ ていない	持っていない
円満な人間関係を築く力	29.9	57.4	10.0	2.2	0.5
人と協力しながら物事に 取り組む力	34.1	56.6	7.1	1.9	0.3
目標に向かって人や集 団をひっぱる力	22.9	51.1	19.8	5.5	0.6
自分の感情をコント ロールする力	27.0	45.8	21.2	5.4	0.5
やる気を維持する力	25.5	51.7	18.7	3.2	0.9
良い行動を習慣とし て続けられる力	22.5	53.3	19.4	4.1	0.6
情報を収集・分析し て、課題を発見する力	39.1	51.6	7.9	1.3	0.1
課題解決のための計 画を立案する力	36.2	52.3	9.9	1.4	0.3
行動を起こし、最後 までやりきる力	35.9	48.9	13.5	1.2	0.5
文章の構成や要旨を 的確に理解する力	37.2	46.7	12.6	3.2	0.3
データや数字をすば やく読み取る力	32.0	48.4	15.6	3.9	0.1
論理的に物事を分析 ・構築する力	38.7	47.2	12.2	1.5	0.3
独自のものの見方 や考え方を する力	29.9	48.3	18.5	2.8	0.5
現在の仕事に関する 専門的な知識	29.7	51.2	14.4	4.2	0.4
現在の仕事の遂行に 必要な技術や ノウハウ	27.2	52.6	16.3	3.5	0.4

■大学院修士課程での学習によって、以下の能力はどの程度高まったと思いますか。

(単一回答)

	とても高 まった	高まった	どちらともい えない	あまり高ま らなかった	高まらな かった
円満な人間関係を築く力	15.8	42.0	35.5	3.9	2.8
人と協力しながら物 事に 取り組む力	20.3	45.2	28.8	3.2	2.4
目標に向かって人や 集 団をひっぱる力	16.7	40.0	35.0	5.5	2.7
自分の感情をコント ロールする力	14.5	30.5	44.8	6.0	4.1
やる気を維持する力	20.7	43.4	29.2	3.9	2.8
良い行動を習慣とし て続けられる力	21.6	45.3	26.5	3.9	2.7
情報を収集・分析し て、課題を発見する力	37.1	48.3	13.0	1.2	0.5
課題解決のための計 画を立案する力	30.8	46.2	20.3	1.7	1.0
行動を起こし、最後 までやりきる力	26.3	39.6	29.2	3.0	1.9
文章の構成や要旨を 的確に理解する力	31.5	46.7	18.8	2.2	0.8
データや数字をすば やく読み取る力	29.3	48.9	17.9	3.3	0.5
論理的に物事を分析 ・構築する力	37.8	47.2	12.6	1.9	0.4
独自のものの見方 や考え方を する力	25.5	46.3	24.7	2.6	0.9
現在の仕事に関する 専門的な知識	22.9	40.7	24.8	6.6	5.0
現在の仕事の遂行に 必要な技術や ノウハウ	19.6	39.0	30.1	6.0	5.3

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

■現在、あなたは以下の知識・スキル等をどの程度持っていると思いますか。それぞれあてはまるものをお選びください。
(単一回答)

	十分持っている	持っている	どちらともいえない	あまり持っていない	持っていない
困難な事態においても目標に向かって進む力	29.5	57.8	11.2	0.8	0.8
状況を俯瞰して全体構造を把握できる力	34.4	54.4	9.9	1.0	0.3
客観的に状況を捉え、論理的に説明できる力	35.0	52.3	11.2	1.0	0.5
問題に対して、建設的な方向を模索する力	34.1	54.7	10.4	0.4	0.4
ひとを巻き込み、引っ張るリーダーシップ	18.0	45.9	27.8	6.7	1.5
総合的な経営の知識・スキル	20.3	54.8	19.8	4.0	1.0
特定分野の専門的知識・スキル	28.2	52.4	16.2	2.6	0.6
経済・社会の知識	15.7	58.9	21.6	3.7	0.0
国際的なビジネス感覚	12.7	32.2	29.6	20.7	4.8
英語の能力	12.6	29.1	22.3	23.8	12.2

■大学院修士課程での学習によって、以下の知識・スキル等はどの程度高まったと思いますか。
(単一回答)

	とても高まった	高まった	どちらともいえない	あまり高まらなかった	高まらなかった
困難な事態においても目標に向かって進む力	24.3	44.7	25.6	3.0	2.4
状況を俯瞰して全体構造を把握できる力	31.1	48.4	17.2	2.2	1.0
客観的に状況を捉え、論理的に説明できる力	31.7	50.2	15.7	1.7	0.8
問題に対して、建設的な方向を模索する力	24.6	48.9	22.7	2.4	1.4
ひとを巻き込み、引っ張るリーダーシップ	14.4	38.5	37.1	6.8	3.2
総合的な経営の知識・スキル	34.9	47.5	13.8	2.6	1.3
特定分野の専門的知識・スキル	26.0	44.5	21.2	4.9	3.3
経済・社会の知識	20.1	52.3	21.9	4.2	1.5
国際的なビジネス感覚	10.0	29.1	33.8	17.5	9.5
英語の能力	6.6	18.7	29.9	20.1	24.8

■大学院修士課程で得た人的ネットワークを、卒業後にどの程度活用されているかお答えください。
(単一回答)

同級生や教員と一緒に、仕事をしました	同級生や教員に、具体的な仕事について相談した	情報交換などをしている	ほとんど会っていない	無回答
12.2	17.8	59.1	10.9	0.0

■どの大学院修士課程の研究科・専攻に入学されましたか。
※実際に入学した研究科名・専攻名を回答してもらったものを任意で経営系と財務・会計・金融系に集計した。
(単一回答)

経営系	財務・会計・金融系
66.0	34.0

※教育機関の名称を別途回答してもらった

■大学院修士課程を卒業したのは、何年の何月でしたか。
※調査実施の2011年2月から、回答した年月を引いた卒業後経過年数を集計した。
(単一回答)

3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満
0.1	6.0	17.2	17.9	19.0	13.1
4～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上
11.5	9.7	3.9	1.0	0.5	0.0

国内経営学系大学院修了生に関する調査報告書

- 大学院修士課程に入学する以前の最終学歴は何でしたか。1～4の中からお選びください。教育機関の名称をお答えください。
(単一回答)

1.大学	2.大学院 修士課程	3.大学院 博士課程	4.その他
86.9	10.7	1.0	1.4

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった
※教育機関の名称を別途回答してもらった

- 上記の学校を卒業・修了したのは、何年の何月でしたか。

(単一回答)

1960年代	1970年代	1980年代前半	1980年代後半	1990年代前半	1990年代後半	2000年代前半	2000年代後半
0.4	1.8	5.3	14.2	21.9	30.9	17.3	8.4

- 上記の学校の専攻分野は何ですか。

(単一回答)

人文科学	社会学	法・政治 学	経済学	経営学・ 商学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政学	その他
7.3	3.0	14.8	21.9	20.8	3.9	17.2	1.7	0.5	1.2	0.4	7.3

※「その他」と回答した場合、自由記述でその内容を回答してもらった。

- 現在、配偶者の方はいらっしゃいますか。

(単一回答)

いる	いない
72.5	27.5

- お子様はいらっしゃいますか。

(単一回答)

いる	いない
53.4	46.6

クロス集計表

入学目的／大学院満足度／学習成果
／意識等の変化／基礎力の変化

クロス集計表内の「*」の表記は、該当するカテゴリが、全体に比べて、1%水準で統計的に有意なことを示す。

■入学年齢別にみた入学目的

- ・「これまでの仕事経験を理論的に整理するため」という入学目的を持っていた割合は、35歳以上は、35歳未満に比べて大きい。
- ・「転職や独立開業に役立てるため」という入学目的を持っている割合は、20代後半はその他の年齢層に比べて大きい。
- ・「資格取得のため」という入学目的を持っている割合は、20代前半はその他の年齢層に比べて大きい。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力などを身につけるため)	論理的にものごとを考える力を高めるため	仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	教養を深めるため	これまでの仕事経験を理論的に整理するため	教員や同級生などとの交流、人的ネットワークを充実させるため	入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため
全体	777	65.4	65.6	75.5	52.6	55.3	59.8	15.2
25歳未満	50	52.0	48.0	72.0	34.0	2.0*	34.0*	0.0*
25歳以上30歳未満	143	60.8	65.7	73.4	50.3	47.6	56.6	14.0
30歳以上35歳未満	224	64.3	62.1	75.9	57.1	51.8	63.4	17.9
35歳以上40歳未満	201	73.6	73.1	77.1	53.7	67.2*	67.2	15.4
40歳以上45歳未満	95	70.5	74.7	71.6	58.9	69.5	60.0	15.8
45歳以上50歳未満	49	51.0	51.0	83.7	36.7	69.4	51.0	20.4
50歳以上	15	73.3	66.7	80.0	66.7	66.7	53.3	13.3
	n	転職や独立開業に役立てるため	大学等の研究者になるため	修士卒という肩書を得るため	資格取得のため	「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	その他	
全体	777	30.4	4.9	37.1	14.0	7.3	5.0	
25歳未満	50	14.0	6.0	42.0	32.0*	12.0	4.0	
25歳以上30歳未満	143	42.7*	4.2	37.8	10.5	9.8	4.2	
30歳以上35歳未満	224	35.3	4.0	34.4	17.9	8.9	3.1	
35歳以上40歳未満	201	23.9	5.5	38.8	12.9	5.0	6.0	
40歳以上45歳未満	95	32.6	4.2	40.0	9.5	7.4	7.4	
45歳以上50歳未満	49	10.2*	8.2	32.7	4.1	0.0	8.2	
50歳以上	15	33.3	6.7	26.7	6.7	0.0	6.7	

Q.(表頭)大学院修士課程への入学目的をお答えください。

Q.(表側)大学院修士課程へ入学したのは、何年の何月でしたか。(4ケタの西暦でお答えください)またその時の年齢も教えてください。

■入学年齢別にみた大学院満足度

・大学院の各要素への満足度は、大学院入学時の年齢層によって大きな違いはない。

(項目ごとに単一回答)

	n	教員	同級生	カリキュラム(授業、ゼミなど)	設備	キャリアに関するセミナー・個別相談
全体	777	96.8	93.4	95.0	88.2	45.7
25歳未満	50	100.0	86.0	88.0	86.0	52.0
25歳以上30歳未満	143	98.6	92.3	93.7	90.9	42.7
30歳以上35歳未満	224	95.5	94.2	95.5	87.1	41.5
35歳以上40歳未満	201	95.0	94.5	95.5	86.1	49.8
40歳以上45歳未満	95	97.9	92.6	98.9	89.5	44.2
45歳以上50歳未満	49	98.0	100.0	93.9	93.9	49.0
50歳以上	15	100.0	86.7	93.3	86.7	60.0

Q.(表頭)修了された大学院修士課程での学習等の各項目について、満足されましたか。

※満足度を「非常に満足している・まあ満足している・あまり満足していない・満足していない」の4件法で回答してもらったが、上位2つまでを「満足している」として合計した割合を使用。

Q.(表側)大学院修士課程へ入学したのは、何年の何月でしたか。(4ケタの西暦でお答えください)またその時の年齢も教えてください。

■入学年齢別にみた学習成果

- ・「これまでの仕事経験を理論的に整理することができた」という学習成果を得た割合は、40代前半はその他の年齢層に比べて大きい。
- ・「転職や独立開業に役立った」という学習成果を得た割合は、20代後半はその他の年齢層に比べて大きい。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力などが身についた)	論理的にものごとを考える力が高められた	仕事に必要な専門的な知識や技術が身についた	教養が深められた	これまでの仕事経験を理論的に整理することができた	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた
全体	777	66.0	72.2	70.4	66.2	53.8	69.9
25歳未満	50	58.0	64.0	78.0	68.0	6.0*	50.0*
25歳以上30歳未満	143	66.4	68.5	67.8	65.7	39.9*	69.9
30歳以上35歳未満	224	63.8	69.6	67.0	66.1	55.4	68.8
35歳以上40歳未満	201	68.7	75.6	72.6	66.2	63.7	73.6
40歳以上45歳未満	95	69.5	80.0	67.4	69.5	69.5*	73.7
45歳以上50歳未満	49	63.3	69.4	83.7	59.2	65.3	73.5
50歳以上	15	73.3	86.7	66.7	66.7	53.3	66.7
	n	入学時に在籍していた会社での処遇が向上(昇進・昇給)した	転職や独立開業に役立った	大学等の研究者になれた	資格が取得できた	その他	
全体	777	14.7	15.3	1.7	17.4	2.6	
25歳未満	50	0.0*	6.0	0.0	22.0	2.0	
25歳以上30歳未満	143	14.7	25.9*	2.8	21.0	2.1	
30歳以上35歳未満	224	13.8	16.5	0.9	16.5	1.8	
35歳以上40歳未満	201	17.9	11.4	1.5	10.4	2.5	
40歳以上45歳未満	95	18.9	10.5	2.1	24.2	6.3	
45歳以上50歳未満	49	14.3	10.2	0.0	20.4	0.0	
50歳以上	15	6.7	26.7	13.3	20.0	6.7	

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、得られたもの・達成したものを選んでください。

Q. (表側)大学院修士課程へ入学したのは、何年の何月でしたか。(4ケタの西暦でお答えください)またその時の年齢も教えてください。

■入学年齢別にみた意識等の変化

- 「将来のキャリアパスが明確になった」という変化があった割合は、年齢層が若いほど大きい。ただし、50歳以上を除く。
- 「学習習慣が身に付いた」という変化があった割合は、40代はその他の年齢層に比べて大きい。

(複数回答)

	n	自分に対して自信が ついた	周囲からの 評価が上 がった	将来のキャ リアパスが 明確になっ た	視野が広く なった	考え方が柔 軟になった	仕事の効率 が上がった	仕事への意 欲が高まっ た
全体	777	73.4	43.5	28.2	82.8	59.3	31.9	37.7
25歳未満	50	58.0	42.0	34.0	64.0*	40.0	2.0*	26.0
25歳以上30歳未満	143	70.6	45.5	33.6	81.8	60.1	35.0	39.2
30歳以上35歳未満	224	74.1	44.6	31.2	82.1	60.7	34.4	39.7
35歳以上40歳未満	201	75.1	45.3	25.4	85.6	64.2	32.3	35.3
40歳以上45歳未満	95	81.1	34.7	22.1	86.3	56.8	34.7	46.3
45歳以上50歳未満	49	67.3	40.8	16.3	85.7	53.1	28.6	30.6
50歳以上	15	86.7	53.3	26.7	93.3	66.7	53.3	33.3
	n	仕事以外の プライベート が充実した	自分の職場 や職業経験 を客観的に 見直すこと ができた	現在勤務す る組織への 帰属意識が 高まった	成長実感を 得られた	雇用不安が 解消された	学習習慣が 身に付いた	その他
全体	777	34.6	64.0	6.8	61.3	6.2	47.4	1.9
25歳未満	50	22.0	14.0*	4.0	44.0	4.0	28.0	4.0
25歳以上30歳未満	143	30.8	60.1	6.3	59.4	9.1	38.5	1.4
30歳以上35歳未満	224	37.9	65.2	8.5	60.3	7.1	49.6	1.8
35歳以上40歳未満	201	35.3	70.6	6.0	68.2	3.5	48.3	2.5
40歳以上45歳未満	95	35.8	78.9*	6.3	67.4	7.4	57.9	2.1
45歳以上50歳未満	49	32.7	65.3	6.1	49.0	2.0	59.2	0.0
50歳以上	15	53.3	60.0	13.3	60.0	13.3	46.7	0.0

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、以下の変化はありましたか。

Q. (表側)大学院修士課程へ入学したのは、何年の何月でしたか。(4ケタの西暦でお答えください)またその時の年齢も教えてください。

■入学年齢別にみた基礎力の変化

・大学院での学習によって高まった基礎力は、年齢層別による大きな違いはない。

(項目ごとに単一回答)

	n	対人能力			対自己能力			対課題能力		
		円満な人間関係を築く力	人と協力しながら物事に取り組む力	目標に向かって人や集団をひっぱる力	自分の感情をコントロールする力	やる気を維持する力	良い行動を習慣として続けられる力	情報を収集・分析して、課題を発見する力	課題解決のための計画を立案する力	行動を起こし、最後までやりきる力
全体	777	57.8	65.5	56.8	45.0	64.1	66.9	85.3	77.0	65.9
25歳未満	50	60.0	70.0	42.0	42.0	56.0	60.0	78.0	76.0	64.0
25歳以上30歳未満	143	60.8	65.7	55.9	44.8	58.7	64.3	86.0	76.9	69.9
30歳以上35歳未満	224	55.4	62.9	55.8	43.8	63.4	63.8	87.1	75.9	63.8
35歳以上40歳未満	201	58.2	66.7	58.2	43.3	67.2	69.7	85.1	76.6	66.2
40歳以上45歳未満	95	57.9	69.5	65.3	47.4	67.4	71.6	85.3	82.1	65.3
45歳以上50歳未満	49	49.0	55.1	51.0	46.9	63.3	65.3	81.6	69.4	59.2
50歳以上	15	80.0	80.0	73.3	80.0	93.3	100.0	93.3	93.3	86.7
	n	処理力		思考力		専門力				
	n	文章の構成や要旨を的確に理解する力	データや数字をすばやく読み取る力	論理的に物事を分析・構築する力	独自のものの見方や考え方をする力	現在の仕事に関する専門的な知識	現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ			
全体	777	78.2	78.2	85.1	71.8	63.6	58.6			
25歳未満	50	70.0	68.0	78.0	66.0	70.0	58.0			
25歳以上30歳未満	143	79.0	79.7	87.4	75.5	72.7	64.3			
30歳以上35歳未満	224	79.0	79.9	84.8	68.8	59.4	53.1			
35歳以上40歳未満	201	80.1	78.1	81.6	71.1	58.2	56.2			
40歳以上45歳未満	95	78.9	80.0	91.6	76.8	60.0	62.1			
45歳以上50歳未満	49	69.4	69.4	83.7	69.4	73.5	63.3			
50歳以上	15	86.7	93.3	100.0	86.7	80.0	80.0			

Q. (表頭) 大学院修士課程での学習によって、以下の能力はどの程度高まったと思いますか。
 ※基礎力の向上の程度を「とても高まった・高まった・どちらともいえない・あまり高まらなかった・高まらなかった」の5件法で回答してもらったが、上位2つまでを「高まった」として合計した割合を使用。
 Q. (表側) 大学院修士課程へ入学したのは、何年の何月でしたか。(4ヶ々の西暦でお答えください) またその時の年齢も教えてください。

■入学(直)前の役職別にみた入学目的

- 「これまでの仕事経験を理論的に整理するため」という入学目的を持っていた割合は、一般社員クラスは全体に比べて少なく、部長クラスは全体に比べて多い。
- 他の入学目的については、役職による大きな違いはない。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力などを身につけるため)	論理的にものごを考へる力を高めるため	仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	教養を深めるため	これまでの仕事経験を理論的に整理するため	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	
全体	777	65.4	65.6	75.5	52.6	55.3	59.8	
一般社員クラス	189	64.0	65.1	75.1	57.7	44.4*	59.8	
係長クラス	241	67.2	65.6	75.9	49.4	60.2	62.7	
課長クラス	184	69.6	69.0	72.3	54.3	61.4	63.6	
部長クラス	81	63.0	71.6	75.3	51.9	72.8*	56.8	
無回答	82	56.1	53.7	82.9	47.6	35.4*	46.3	
	n	入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	転職や独立開業に役立てるため	大学等の研究者になるため	修士卒という肩書を得るため	資格取得のため	「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	その他
全体	777	15.2	30.4	4.9	37.1	14.0	7.3	5.0
一般社員クラス	189	15.9	36.5	2.6	36.5	13.2	11.1	4.2
係長クラス	241	17.4	32.8	5.0	40.7	14.5	9.1	4.1
課長クラス	184	14.7	26.6	7.1	33.7	7.6	2.7	5.4
部長クラス	81	16.0	30.9	3.7	38.3	12.3	3.7	4.9
無回答	82	7.3	17.1	6.1	34.1	30.5*	7.3	8.5

Q.(表頭)大学院修士課程への入学目的をお答えください。

Q.(表側)下記における勤務先での役職は、次のどれにあてはまりますか。名称が異なる場合も、職階(職位)に近いと思われるものをお選びください。

■入学(直)前の役職別にみた大学院満足度

•大学院への各要素への満足度は、役職による大きな違いはない。

(項目ごとに単一回答)

	n	教員	同級生	カリキュラム(授業、ゼミなど)	設備	キャリアに関するセミナー・個別相談
全体	777	96.8	93.4	95.0	88.2	45.7
一般社員クラス	189	96.3	92.1	93.7	87.8	42.9
係長クラス	241	97.5	96.7	97.9	87.6	43.6
課長クラス	184	95.1	92.4	94.6	89.7	45.1
部長クラス	81	97.5	92.6	93.8	82.7	46.9
無回答	82	98.8	90.2	91.5	92.7	58.5

Q. (表頭)修了された大学院修士課程での学習等の各項目について、満足されましたか。
 ※満足の程度を「非常に満足している・まあ満足している・あまり満足していない・満足していない」の4件法で回答してもらったが、上位2つまでを「満足している」として合計した割合を使用。

Q. (表側)下記における勤務先での役職は、次のどれにあてはまりますか。名称が異なる場合も、職階(職位)が近いと思われるものをお選びください。

■入学(直)前の役職別にみた学習成果

- ・「論理的にものごとを考える力が高められた」という学習成果を得た割合は、部長クラスはその他に比べて大きい。
- ・「教養が深められた」という学習成果を得た割合は、役職についていない者はその他に比べて大きい。
- ・「これまでの仕事経験を理論的に整理することができた」という学習成果を得た割合は、役職が高いほど大きい。
- ・「転職や独立開業に役立った」という学習成果を得た割合は、役職についていない者はその他に比べて大きい。

(複数回答)

	n	仕事に必要な 基礎的なスキル (コミュニケーション能力や問題解決能力などが身についた)	論理的にものごとを考える 力が高められた	仕事に必要な 専門的な知識や技術が 身についた	教養が深められた	これまでの仕事経験を理論的に整理することができた	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた
全体	777	66.0	72.2	70.4	66.2	53.8	69.9
一般社員クラス	189	67.7	74.1	68.3	72.0	46.6	69.8
係長クラス	241	67.2	71.4	69.7	62.7	58.5	71.0
課長クラス	184	66.3	69.0	69.0	64.7	60.9	69.0
部長クラス	81	63.0	85.2	69.1	66.7	65.4	76.5
無回答	82	61.0	64.6	81.7	65.9	29.3*	62.2
	n	入学時に在籍していた会社での処遇が向上(昇進・昇給)した	転職や独立開業に役立った	大学等の研究者になれた	資格が取得できた	その他	
全体	777	14.7	15.3	1.7	17.4	2.6	
一般社員クラス	189	13.8	20.1	2.1	19.6	3.7	
係長クラス	241	17.8	14.1	0.8	15.4	1.2	
課長クラス	184	15.2	14.1	1.6	13.0	3.3	
部長クラス	81	12.3	14.8	3.7	24.7	3.7	
無回答	82	8.5	11.0	1.2	20.7	1.2	

Q.(表頭)大学院修士課程で学習することによって、得られたもの・達成したものを選んでください。

Q.(表側)下記における勤務先での役職は、次のどれにあてはまりますか。名称が異なる場合も、職階(職位)が近いと思われるものをお選びください。

■入学(直)前の役職別にみた意識等の変化

- 「周囲からの評価が上がった」という変化があった割合は、部長クラスはその他に比べて大きい。
- 「視野が広がった」という変化があった割合は、部長クラスはその他に比べて大きい。
- 「考え方が柔軟になった」という変化があった割合は、役職についていない者はその他に比べて大きい。
- 「仕事の効率が上がった」という変化があった割合は、部長クラスはその他に比べて大きい。
- 「仕事への意欲が高まった」という変化があった割合は、役職についていない者はその他に比べて大きい。
- 「仕事以外のプライベートが充実した」という変化があった割合は、部長クラスはその他に比べて大きい。
- 「学習習慣が身に付いた」という変化があった割合は、部長クラスはその他に比べて大きい。

(複数回答)

	n	自分に対して自信が ついた	周囲からの 評価が上 がった	将来のキャ リアパスが 明確になっ た	視野が広く なった	考え方が柔 軟になった	仕事の効 率が上がっ た	仕事への 意欲が高 まった
全体	777	73.4	43.5	28.2	82.8	59.3	31.9	37.7
一般社員クラス	189	70.4	43.9	29.6	86.2	66.1	33.3	45.0
係長クラス	241	78.4	42.7	29.9	82.2	57.7	34.4	35.7
課長クラス	184	72.3	40.8	22.3	80.4	57.6	31.5	39.1
部長クラス	81	77.8	50.6	27.2	88.9	56.8	38.3	37.0
無回答	82	63.4	43.9	34.1	75.6	54.9	15.9*	24.4
	n	仕事以外の プライベート が充実した	自分の職場 や職業経験 を客観的に 見直すこと ができた	現在勤務す る組織への 帰属意識が 高まった	成長実感を 得られた	雇用不安が 解消された	学習習慣 が身に付 いた	その他
全体	777	34.6	64.0	6.8	61.3	6.2	47.4	1.9
一般社員クラス	189	37.0	67.7	7.9	57.7	7.9	45.0	3.2
係長クラス	241	36.9	67.6	7.9	64.3	5.8	46.5	0.8
課長クラス	184	32.1	69.0	6.5	62.5	4.9	48.9	2.7
部長クラス	81	39.5	64.2	6.2	60.5	6.2	61.7	1.2
無回答	82	23.2	32.9*	2.4	58.5	6.1	37.8	1.2

Q.(表頭) 大学院修士課程で学習することによって、以下の変化はありましたか。

Q.(表側) 下記における勤務先での役職は、次のどれにあてはまりますか。名称が異なる場合も、職階(職位)が近いと思われるものをお選びください。

■入学(直)前の役職別にみた基礎力の変化

- ・「目標に向かって人や集団をひっぱる力」を大学院での学習によって高められた割合は、管理職は役職についていない者に比べて大きい。
- ・「自分の感情をコントロールする力」を大学院での学習によって高められた割合は、役職が高いほど大きい。
- ・「やる気を維持する力」を大学院での学習によって高められた割合は、役職が高いほど大きい。
- ・「良い行動を習慣として続けられる力」を大学院での学習によって高められた割合は、部長クラスはその他に比べて大きい。
- ・「現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ」を大学院での学習によって高められた割合は、部長クラスはその他に比べて大きい。

(項目ごとに単一回答)

	n	対人能力			対自己能力			対課題能力		
		円満な人間関係を築く力	人と協力しながら物事に取り組む力	目標に向かって人や集団をひっぱる力	自分の感情をコントロールする力	やる気を維持する力	良い行動を習慣として続けられる力	情報を収集・分析して、課題を発見する力	課題解決のための計画を立案する力	行動を起こし、最後までやりきる力
全体	777	57.8	65.5	56.8	45.0	64.1	66.9	85.3	77.0	65.9
一般社員クラス	189	56.6	66.7	50.3	41.8	60.8	63.5	85.2	76.7	64.6
係長クラス	241	59.3	68.9	58.9	44.0	63.1	67.6	89.6	78.8	68.5
課長クラス	184	51.6	57.1	59.8	46.2	65.8	66.8	79.3	73.4	60.9
部長クラス	81	58.0	64.2	61.7	49.4	74.1	76.5	87.7	81.5	71.6
無回答	82	69.5	73.2	53.7	48.8	61.0	63.4	84.1	75.6	67.1
	n	処理力		思考力		専門力				
		文章の構成や要旨を的確に理解する力	データや数字をすばやく読み取る力	論理的に物事を分析・構築する力	独自のものの見方や考え方を考える力	現在の仕事に関する専門的な知識	現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ			
全体	777	78.2	78.2	85.1	71.8	63.6	58.6			
一般社員クラス	189	81.5	77.2	88.4	75.7	62.4	58.7			
係長クラス	241	79.3	80.1	83.0	68.0	61.4	54.4			
課長クラス	184	75.5	75.5	84.2	71.2	64.1	58.7			
部長クラス	81	77.8	82.7	88.9	76.5	63.0	64.2			
無回答	82	74.4	76.8	81.7	70.7	72.0	64.6			

Q. (表頭)大学院修士課程での学習によって、以下の能力はどの程度高まったと思いますか。
 ※基礎力の向上の程度を「とても高まった・高まった・どちらともいえない・あまり高まらなかった・高まらなかった」の5件法で回答してもらったが、上位2つまでを「高まった」として合計した割合を使用。
 Q. (表側)下記における勤務先での役職は、次のどれにあてはまりますか。名称が異なる場合も、職階(職位)が近いと思われるものをお選びください。

■大学院費用負担別にみた入学目的（1）

- 「入学時に在籍していた会社での処遇の向上（昇進・昇給）のため」という入学目的を持っていた割合は、勤務先に費用を負担してもらっていたほど大きい。
- 「転職や独立開業に役立てるため」という入学目的を持っていた割合は、勤務先に費用を負担してもらわなかったほど大きい。

（複数回答）

	n	仕事に必要な基礎的なスキル（コミュニケーション能力や問題解決能力などを身につけるため	論理的にものごとを考える力を高めるため	仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	教養を深めるため	これまでの仕事経験を理論的に整理するため	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため		
全体	777	65.4	65.6	75.5	52.6	55.3			
勤務先に費用をすべて負担してもらった	95	58.9	61.1	75.8	50.5	51.6			
勤務先に費用を一部負担してもらった	75	69.3	84.0*	77.3	52.0	61.3			
勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	557	66.8	65.7	75.2	54.4	59.1			
無回答	50	56.0	46.0*	76.0	38.0	12.0*			
	n	入学時に在籍していた会社での処遇の向上（昇進・昇給）のため	転職や独立開業に役立てるため	大学等の研究者になるため	修士卒という肩書を得るため	資格取得のため	「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	その他	
全体	777	15.2	30.4	4.9	37.1	14.0	7.3	5.0	
勤務先に費用をすべて負担してもらった	95	21.1	10.5*	3.2	29.5	9.5	4.2	2.1	
勤務先に費用を一部負担してもらった	75	18.7	24.0	0.0	28.0	12.0	4.0	2.7	
勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	557	14.7	36.1	5.6	39.3	12.7	8.1	5.7	
無回答	50	4.0	14.0	8.0	40.0	40.0*	10.0	6.0	

Q.（表頭）大学院修士課程への入学目的をお答えください。

Q.（表側）大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を勤務先に負担してもらいましたか。

■大学院費用負担別にみた入学目的（2）

- ・「論理的にものごとを考える力を高めるため」という入学目的を持っていた割合は、費用を自分で負担した額が低いほど大きい。
- ・「仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため」という入学目的を持っていた割合は、費用を自分で負担した額が高いほど大きい。
- ・「転職や独立開業に役立てるため」という入学目的を持っていた割合は、費用を自分で負担した額が高いほど大きい。
- ・「修士卒という肩書を得るため」という入学目的を持っていた割合は、200万円以上を自分で負担した人はそうでない人に比べて大きい。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力などを身につけるため)	論理的にものごとを考える力を高めるため	仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	教養を深めるため	これまでの仕事経験を理論的に整理するため	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	
全体	777	65.4	65.6	75.5	52.6	55.3	59.8	
100万円未満	63	61.9	79.4	63.5	50.8	57.1	65.1	
100～200万円未満	198	69.2	72.2	74.7	56.6	64.6	68.7	
200～300万円未満	142	69.0	71.1	77.5	51.4	56.3	59.2	
300万円以上	229	65.5	59.0	78.2	54.6	57.2	57.2	
無回答	145	57.9	55.9	75.9	46.2	37.9*	50.3	
	n	入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	転職や独立開業に役立てるため	大学等の研究者になるため	修士卒という肩書を得るため	資格取得のため	「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	その他
全体	777	15.2	30.4	4.9	37.1	14.0	7.3	5.0
100万円未満	63	11.1	28.6	3.2	28.6	14.3	3.2	3.2
100～200万円未満	198	13.1	28.8	4.0	31.3	6.6*	7.1	8.6
200～300万円未満	142	19.0	34.5	5.6	40.8	11.3	9.2	5.6
300万円以上	229	15.7	41.5*	5.7	44.5	18.3	8.3	3.1
無回答	145	15.2	11.7*	4.8	33.1	20.0	6.2	3.4

Q. (表頭)大学院修士課程への入学目的をお答えください。

Q. (表側)大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を、どのくらい自己負担で賄いましたか。

■大学院費用負担別にみた大学院満足度（1）

•大学院の各要素への満足度は、費用負担先別に大きな違いはない。

（項目ごとに単一回答）

	n	教員	同級生	カリキュラム (授業、ゼミなど)	設備	キャリアに 関するセミ ナー・個別 相談
全体	777	96.8	93.4	95.0	88.2	45.7
勤務先に費用をすべて負担してもらった	95	97.9	93.7	96.8	87.4	50.5
勤務先に費用を一部負担してもらった	75	96.0	93.3	96.0	82.7	42.7
勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	557	96.6	93.9	95.3	88.9	44.2
無回答	50	98.0	88.0	86.0	90.0	58.0

- Q. (表頭) 修了された大学院修士課程での学習等の各項目について、満足されましたか。
 ※満足の程度を「非常に満足している・まあ満足している・あまり満足していない・満足していない」の4件法で回答してもらったが、上位2つまでを「満足している」として合計した割合を使用。
 Q. (表側) 大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を勤務先に負担してもらいましたか。

■大学院費用負担別にみた大学院満足度（2）

•大学院の各要素への満足度は、費用負担額別に大きな違いはない。

（項目ごとに単一回答）

	n	教員	同級生	カリキュラム (授業、ゼミ など)	設備	キャリアに 関するセミ ナー・個別 相談
全体	777	96.8	93.4	95.0	88.2	45.7
100万円未満	63	96.8	100.0	95.2	82.5	41.3
100～200万円未満	198	98.0	94.4	96.5	88.4	48.0
200～300万円未満	142	95.8	88.7	94.4	83.8	38.0
300万円以上	229	95.6	94.8	95.2	92.1	45.0
無回答	145	97.9	91.7	93.1	88.3	53.1

- Q. (表頭) 修了された大学院修士課程での学習等の各項目について、満足されましたか。
 ※満足の程度を「非常に満足している・まあ満足している・あまり満足していない・満足していない」の4件法で回答してもらったが、上位2つまでを「満足している」として合計した割合を使用。
 Q. (表側) 大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を、どのくらい自己負担で賄いましたか。

■大学院費用負担別にみた学習成果(1)

- ・「入学時に在籍していた会社での処遇が向上(昇進・昇給)した」という学習成果を得た割合は、勤務先に費用を負担してもらっていた場合は、勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった場合に比べて大きい。
- ・「転職や独立開業に役立った」という学習成果を得た割合は、勤務先に費用を負担してもらわなかったほど大きい。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)が身についた	論理的にものごを考える力が高められた	仕事に必要な専門的な知識や技術が身についた	教養が深められた	これまでの仕事経験を理論的に整理することができた	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた
全体	777	66.0	72.2	70.4	66.2	53.8	69.9
勤務先に費用をすべて負担してもらった	95	58.9	71.6	69.5	69.5	58.9	65.3
勤務先に費用を一部負担してもらった	75	78.7	80.0	69.3	62.7	57.3	72.0
勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	557	65.9	72.0	69.7	66.1	56.4	71.8
無回答	50	62.0	64.0	82.0	66.0	10.0*	54.0
	n	入学時に在籍していた会社での処遇が向上(昇進・昇給)した	転職や独立開業に役立った	大学等の研究者になれた	資格が取得できた	その他	
全体	777	14.7	15.3	1.7	17.4	2.6	
勤務先に費用をすべて負担してもらった	95	21.1	2.1*	1.1	9.5	1.1	
勤務先に費用を一部負担してもらった	75	21.3	5.3	2.7	16.0	2.7	
勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	557	13.5	19.4	1.8	18.1	3.1	
無回答	50	6.0	10.0	0.0	26.0	0.0	

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、得られたもの・達成したものを選んでください。

Q. (表側)大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を勤務先に負担してもらいましたか。

■大学院費用負担別にみた学習成果(2)

・「転職や独立開業に役立った」という学習成果を得た割合は、費用を自分で負担した額が高いほど大きい。

(複数回答)

	n	仕事に必要な 基礎的なスキル(コミュニ ケーション能力や問題解 決能力など) が身についた	論理的にも ものごとを考える 力が高められ た	仕事に必要な 専門的な知識 や技術が身に ついた	教養が深めら れた	これまでの仕 事経験を理論 的に整理する ことができた	教員や同級 生などと交流 し、人的ネット ワークを充実 させた
全体	777	66.0	72.2	70.4	66.2	53.8	69.9
100万円未満	63	71.4	76.2	65.1	69.8	49.2	74.6
100～200万円未満	198	65.7	82.3*	68.7	71.7	63.6	77.3
200～300万円未満	142	70.4	69.0	66.9	58.5	54.9	68.3
300万円以上	229	65.9	66.4	73.4	63.8	53.3	68.6
無回答	145	60.0	69.0	73.8	68.3	42.1	61.4
	n	入学時に在籍 していた会社 での処遇が向 上(昇進・昇 給)した	転職や独立 開業に役立っ た	大学等の研 究者になれた	資格が取得で きた	その他	
全体	777	14.7	15.3	1.7	17.4	2.6	
100万円未満	63	11.1	6.3	1.6	17.5	3.2	
100～200万円未満	198	15.7	12.1	2.0	16.7	2.5	
200～300万円未満	142	20.4	15.5	2.8	14.1	5.6	
300万円以上	229	10.5	27.1*	1.3	21.4	1.7	
無回答	145	15.9	4.8*	0.7	15.2	0.7	

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、得られたもの・達成したものを選んでください。

Q. (表側)大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を、どのくらい自己負担で賄いましたか。

■大学院費用負担別にみた意識等の変化(1)

- ・「将来のキャリアパスが明確になった」という変化があった割合は、勤務先に費用を負担してもらわなかったほど大きい。
- ・「視野が広がった」という変化があった割合は、勤務先に費用を負担してもらわなかったほど大きい。
- ・「考え方が柔軟になった」という変化があった割合は、勤務先に費用をすべて負担してもらわなかった人の方が、そうでない人に比べて大きい。
- ・「学習習慣が身に付いた」という変化があった割合は、勤務先に費用をすべて負担してもらわなかった人の方が、そうでない人に比べて大きい。

(複数回答)

	n	自分に対して自信が ついた	周囲からの評価が 上がった	将来のキャリアパスが 明確になった	視野が広がった	考え方が柔軟になった	仕事の効率が上がった	仕事への意欲が高まった
全体	777	73.4	43.5	28.2	82.8	59.3	31.9	37.7
勤務先に費用をすべて負担してもらった	95	68.4	44.2	15.8	77.9	53.7	30.5	35.8
勤務先に費用を一部負担してもらった	75	81.3	54.7	22.7	81.3	61.3	33.3	40.0
勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	557	74.7	41.5	29.8	85.1	61.2	34.1	39.1
無回答	50	56.0	48.0	42.0	68.0	46.0	8.0*	22.0
	n	仕事以外の プライベートが 充実した	自分の職場や職業 経験を客観的に見 直すことができた	現在勤務する組織 への帰属意識が高 まった	成長実感を得られ た	雇用不安が解消さ れた	学習習慣が身に付 いた	その他
全体	777	34.6	64.0	6.8	61.3	6.2	47.4	1.9
勤務先に費用をすべて負担してもらった	95	23.2	57.9	7.4	58.9	1.1	34.7	1.1
勤務先に費用を一部負担してもらった	75	42.7	76.0	13.3	74.7	12.0	53.3	0.0
勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	557	37.2	67.7	6.1	60.7	6.3	50.1	2.3
無回答	50	16.0	16.0*	4.0	52.0	6.0	32.0	2.0

Q.(表頭)大学院修士課程で学習することによって、以下の変化はありましたか。

Q.(表側)大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を勤務先に負担してもらいましたか。

■大学院費用負担別にみた意識等の変化(2)

- ・「周囲からの評価が上がった」という変化があった割合は、費用を自分で負担した額が低いほど大きい。
- ・「成長実感を得られた」という変化があった割合は、費用を自分で負担した額が低いほど大きい。

(複数回答)

	n	自分に対して自信が ついた	周囲からの 評価が上 がった	将来のキャ リアパスが 明確になっ た	視野が広く なった	考え方が柔 軟になった	仕事の効率 が上がった	仕事への意 欲が高まっ た
全体	777	73.4	43.5	28.2	82.8	59.3	31.9	37.7
100万円未満	63	77.8	47.6	22.2	84.1	61.9	28.6	31.7
100～200万円未満	198	75.3	45.5	21.2	87.9	66.2	33.8	43.4
200～300万円未満	142	77.5	41.5	35.2	84.5	59.9	35.9	40.1
300万円以上	229	73.8	40.6	33.6	82.1	57.6	34.5	37.1
無回答	145	64.1	45.5	24.8	74.5	51.0	22.8	31.0
	n	仕事以外の プライベート が充実した	自分の職場 や職業経験 を客観的に 見直すこと ができた	現在勤務す る組織への 帰属意識が 高まった	成長実感を 得られた	雇用不安が 解消された	学習習慣が 身に付いた	その他
全体	777	34.6	64.0	6.8	61.3	6.2	47.4	1.9
100万円未満	63	31.7	73.0	9.5	71.4	9.5	49.2	1.6
100～200万円未満	198	46.5*	77.8*	8.6	64.1	6.6	56.6	2.0
200～300万円未満	142	33.1	64.1	4.9	62.7	8.5	46.5	2.1
300万円以上	229	34.9	62.4	6.1	58.1	5.7	48.0	2.2
無回答	145	20.7*	43.4*	6.2	56.6	2.8	33.8*	1.4

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、以下の変化はありましたか。

Q. (表側)大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を、どのくらい自己負担で賄いましたか。

■大学院費用負担別にみた基礎力の変化(1)

・大学院で高まった基礎力は、費用負担先による違いは大きくない。

(項目ごとに単一回答)

	n	対人能力			対自己能力			対課題能力		
		円満な人間関係を築く力	人と協力しながら物事に取り組む力	目標に向かって人や集団をひっぱる力	自分の感情をコントロールする力	やる気を維持する力	良い行動を習慣として続けられる力	情報を収集・分析して、課題を発見する力	課題解決のための計画を立案する力	行動を起こし、最後までやりきる力
全体	777	57.8	65.5	56.8	45.0	64.1	66.9	85.3	77.0	65.9
勤務先に費用をすべて負担してもらった	95	47.4	55.8	48.4	34.7	56.8	55.8	86.3	71.6	52.6
勤務先に費用を一部負担してもらった	75	57.3	64.0	61.3	44.0	69.3	73.3	89.3	77.3	68.0
勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	557	59.2	67.1	58.7	46.7	65.2	68.0	85.1	77.9	67.7
無回答	50	62.0	68.0	44.0	48.0	58.0	66.0	80.0	76.0	68.0
	n	処理力		思考力		専門力				
	n	文章の構成や要旨を的確に理解する力	データや数字をすばやく読み取る力	論理的に物事を分析・構築する力	独自のものの見方や考え方を考える力	現在の仕事に関する専門的な知識	現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ			
全体	777	78.2	78.2	85.1	71.8	63.6	58.6			
勤務先に費用をすべて負担してもらった	95	72.6	78.9	87.4	67.4	58.9	52.6			
勤務先に費用を一部負担してもらった	75	78.7	81.3	89.3	69.3	58.7	54.7			
勤務先に費用をまったく負担してもらわなかった	557	79.9	78.3	84.7	73.2	64.3	60.0			
無回答	50	70.0	72.0	78.0	68.0	72.0	60.0			

Q.(表頭)大学院修士課程での学習によって、以下の能力はどの程度高まったと思いますか。
 ※基礎力の向上の程度を「とても高まった・高まった・どちらともいえない・あまり高まらなかった・高まらなかった」の5件法で回答してもらったが、上位2つまでを「高まった」として合計した割合を使用。

Q.(表側)大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を勤務先に負担してもらいましたか。

■大学院費用負担別にみた基礎力の変化(2)

- 「情報を収集・分析して、課題を発見する力」が大学院の学習で高まった割合は、費用の自己負担額が低いほど大きい。
- 「現在の仕事に関する専門的な知識」が大学院の学習で高まった割合は、費用の自己負担額が高いほど大きい。
- 「現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ」が大学院の学習で高まった割合は、費用の自己負担額が200万円以上は、200万円未満に比べて大きい。

(項目ごとに単一回答)

	n	対人能力			対自己能力			対課題能力		
		円満な人間関係を築く力	人と協力しながら物事に組み込む力	目標に向かって人や集団をひっぱる力	自分の感情をコントロールする力	やる気を維持する力	良い行動を習慣として続けられる力	情報を収集・分析して、課題を発見する力	課題解決のための計画を立案する力	行動を起こし、最後までやりきる力
全体	777	57.8	65.5	56.8	45.0	64.1	66.9	85.3	77.0	65.9
100万円未満	63	58.7	69.8	54.0	39.7	55.6	61.9	90.5	81.0	60.3
100～200万円未満	198	56.6	64.6	60.6	44.4	68.7	71.2	87.4	78.3	66.2
200～300万円未満	142	63.4	71.8	60.6	49.3	69.0	72.5	85.9	80.3	72.5
300万円以上	229	58.5	64.6	58.1	48.0	63.8	65.9	82.5	75.1	68.1
無回答	145	52.4	60.0	46.9	39.3	57.2	59.3	84.1	73.1	57.9
	n	処理力		思考力		専門力				
	n	文章の構成や要旨を的確に理解する力	データや数字をすばやく読み取る力	論理的に物事を分析・構築する力	独自のものの見方や考え方をする力	現在の仕事に関する専門的な知識	現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ			
全体	777	78.2	78.2	85.1	71.8	63.6	58.6			
100万円未満	63	79.4	74.6	87.3	66.7	49.2	50.8			
100～200万円未満	198	78.8	76.3	87.4	74.7	57.6	53.0			
200～300万円未満	142	84.5	79.6	86.6	75.4	64.8	64.8			
300万円以上	229	77.7	81.2	82.1	71.2	72.1	63.8			
無回答	145	71.7	76.6	84.1	67.6	63.4	55.2			

Q. (表頭)大学院修士課程での学習によって、以下の能力はどの程度高まったと思いますか。
 ※基礎力の向上の程度を「とても高まった・高まった・どちらともいえない・あまり高まらなかった・高まらなかった」の5件法で回答してもらったが、上位2つまでを「高まった」として合計した割合を使用。
 Q. (表側)大学院修士課程の入学金、授業料などの費用を、どのくらい自己負担で賄いましたか。

■大学院専攻別にみた入学目的

- ・「論理的にものごとを考える力を高めるため」という入学目的を持っていた割合は、経営系専攻者は財務・会計・金融系専攻者に比べて大きい。
- ・「仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため」という入学目的を持っていた割合は、財務・会計・金融系専攻者は経営系専攻者に比べて大きい。
- ・「資格取得のため」という入学目的を持っていた割合は、財務・会計・金融系専攻者は経営系専攻者に比べて大きい。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力などを身につけるため)	論理的にものごとを考える力を高めるため	仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	教養を深めるため	これまでの仕事経験を理論的に整理するため	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため
全体	777	65.4	65.6	75.5	52.6	55.3	59.8	15.2
経営系	513	68.8	75.0*	71.3	53.2	58.9	62.2	14.8
財務・会計・金融系	264	58.7	47.3*	83.7*	51.5	48.5	55.3	15.9
	n	転職や独立開業に役立っているため	大学等の研究者になるため	修士卒という肩書を得るため	資格取得のため	「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	その他	
全体	777	30.4	4.9	37.1	14.0	7.3	5.0	
経営系	513	31.2	4.9	33.3	10.3	7.6	6.8	
財務・会計・金融系	264	28.8	4.9	44.3	21.2*	6.8	1.5	

Q. (表頭)大学院修士課程への入学目的をお答えください。

Q. (表側)どの大学院修士課程の研究科・専攻に入学されましたか。

※実際に入学した研究科名・専攻名を回答してもらったものを任意で経営系と財務・会計・金融系に集計した。

■大学院専攻別にみた大学院満足度

・「キャリアに関するセミナー・個別相談」に満足した割合は、財務・会計・金融系専攻の方が経営系専攻者に比べて大きい。

(項目ごとに単一回答)

	n	教員	同級生	カリキュラム(授業、ゼミなど)	設備	キャリアに関するセミナー・個別相談
全体	777	96.8	93.4	95.0	88.2	45.7
経営系	513	96.7	94.2	95.5	87.3	42.3
財務・会計・金融系	264	97.0	92.0	93.9	89.8	52.3

- Q. (表頭)修了された大学院修士課程での学習等の各項目について、満足されましたか。
 ※満足の程度を「非常に満足している・まあ満足している・あまり満足していない・満足していない」の4件法で回答してもらったが、上位2つまでを「満足している」として合計した割合を使用。
- Q. (表側)どの大学院修士課程の研究科・専攻に入学されましたか。
 ※実際に入学した研究科名・専攻名を回答してもらったものを任意で経営系と財務・会計・金融系に集計した。

■大学院専攻別にみた学習成果

- 「論理的にものごとを考える力を高められた」という学習成果を得た割合は、経営系専攻者は財務・会計・金融系専攻者に比べて大きい。
- 「仕事に必要な専門的な知識や技術が身についた」という学習成果を得た割合は、財務・会計・金融系専攻者は経営系専攻者に比べて大きい。
- 「これまでの仕事経験を理論的に整理することができた」という学習成果を得た割合は、経営系専攻者は財務・会計・金融系専攻者に比べて大きい。
- 「教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた」という学習成果を得た割合は、経営系専攻者は財務・会計・金融系専攻者に比べて大きい。
- 「転職や独立開業に役立った」という学習成果を得た割合は、財務・会計・金融系専攻者は経営系専攻者に比べて大きい。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)が身についた	論理的にものごとを考える力が高められた	仕事に必要な専門的な知識や技術が身についた	教養が深められた	これまでの仕事経験を理論的に整理することができた	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた
全体	777	66.0	72.2	70.4	66.2	53.8	69.9
経営系	513	68.4	79.7*	66.7	66.9	60.6	74.5
財務・会計・金融系	264	61.4	57.6*	77.7	64.8	40.5*	61.0*
	n	入学時に在籍していた会社での処遇が向上(昇進・昇給)した	転職や独立開業に役立った	大学等の研究者になれた	資格が取得できた	その他	
全体	777	14.7	15.3	1.7	17.4	2.6	
経営系	513	15.8	12.5	1.9	16.0	3.1	
財務・会計・金融系	264	12.5	20.8	1.1	20.1	1.5	

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、得られたもの・達成したものを選んでください。

Q. (表側)どの大学院修士課程の研究科・専攻に入学されましたか。

※実際に入学した研究科名・専攻名を回答してもらったものを任意で経営系と財務・会計・金融系に集計した。

■大学院専攻別にみた意識等の変化

- 「考え方が柔軟になった」という変化があった割合は、経営系専攻者は財務・会計・金融系専攻者に比べて大きい。
- 「自分の職場や職業経験を客観的に見直すことができた」という変化があった割合は、経営系専攻者は財務・会計・金融系専攻者に比べて大きい。

(複数回答)

	n	自分に対して自信が ついた	周囲からの評価が 上がった	将来のキャリアパスが明 確になった	視野が広 くなった	考え方が 柔軟に なった	仕事の効 率が上 がった	仕事への 意欲が高 まった
全体	777	73.4	43.5	28.2	82.8	59.3	31.9	37.7
経営系	513	74.1	43.5	26.5	86.2	64.7	35.1	40.5
財務・会計・金融系	264	72.0	43.6	31.4	76.1	48.9*	25.8	32.2
	n	仕事以外 のプライ ベートが 充実した	自分の職 場や職業 経験を客 観的に見 直すこと ができた	現在勤務 する組織 への帰属 意識が高 まった	成長実感 を得られ た	雇用不安 が解消さ れた	学習習慣 が身に付 いた	その他
全体	777	34.6	64.0	6.8	61.3	6.2	47.4	1.9
経営系	513	35.3	71.5*	8.2	64.5	6.8	50.3	2.5
財務・会計・金融系	264	33.3	49.2*	4.2	54.9	4.9	41.7	0.8

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、以下の変化はありましたか。

Q. (表側)どの大学院修士課程の研究科・専攻に入学されましたか。

※実際に入学した研究科名・専攻名を回答してもらったものを任意で経営系と財務・会計・金融系に集計した。

■大学院専攻別にみた基礎力の変化

- ・「目標に向かって人や集団をひっぱる力」を大学院での学習によって高められた割合は、経営系専攻者は財務・会計・金融系専攻者に比べて大きい。
- ・「課題解決のための計画を立案する力」を大学院での学習によって高められた割合は、経営系専攻者は財務・会計・金融系専攻者に比べて大きい。
- ・「現在の仕事に関する専門的な知識」を大学院での学習によって高められた割合は、財務・会計・金融系専攻者は経営系専攻者に比べて大きい。
- ・「現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ」を大学院での学習によって高められた割合は、財務・会計・金融系専攻者は経営系専攻者に比べて大きい。

(項目ごとに単一回答)

	n	対人能力			対自己能力			対課題能力		
		円満な人間関係を築く力	人と協力しながら物事に取り組む力	目標に向かって人や集団をひっぱる力	自分の感情をコントロールする力	やる気を維持する力	良い行動を習慣として続けられる力	情報を収集・分析して、課題を発見する力	課題解決のための計画を立案する力	行動を起こし、最後までやりきる力
全体	777	57.8	65.5	56.8	45.0	64.1	66.9	85.3	77.0	65.9
経営系	513	58.5	70.2	61.6	46.2	64.7	67.1	87.9	81.3	65.5
財務・会計・金融系	264	56.4	56.4	47.3*	42.8	62.9	66.7	80.3	68.6*	66.7
	n	処理力		思考力	専門力					
	n	文章の構成や要旨を的確に理解する力	データや数字をすばやく読み取る力	論理的に物事を分析・構築する力	独自のものの見方や考え方を考える力	現在の仕事に関する専門的な知識	現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ			
全体	777	78.2	78.2	85.1	71.8	63.6	58.6			
経営系	513	80.3	78.2	87.1	74.1	55.0*	53.0			
財務・会計・金融系	264	74.2	78.4	81.1	67.4	80.3*	69.3*			

- Q. (表頭)大学院修士課程での学習によって、以下の能力はどの程度高まったと思いますか。
 ※基礎力の向上の程度を「とても高まった・高まった・どちらともいえない・あまり高まらなかった・高まらなかった」の5件法で回答してもらったが、上位2つまでを「高まった」として合計した割合を使用。
- Q. (表側)どの大学院修士課程の研究科・専攻に入学されましたか。
 ※実際に入学した研究科名・専攻名を回答してもらったものを任意で経営系と財務・会計・金融系に集計した。

■入学目的別にみた学習成果

- ・「入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため」という入学目的を持っていた人は、「仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)が身についた」という学習成果を得た割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「論理的にものごとを考える力を高めるため」という入学目的を持っていた人は、「これまでの仕事経験を理論的に整理することができた」という学習成果を得た割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため」という入学目的を持っていた人は、「これまでの仕事経験を理論的に整理することができた」という学習成果を得た割合が全体に比べて有意に高い。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)が身についた	論理的にものごとを考える力が高められた	仕事に必要な専門的な知識や技術が身についた	教養が深められた	これまでの仕事経験を理論的に整理することができた	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた
全体	777	66.0	72.2	70.4	66.2	53.8	69.9
仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)を身につけるため	508	82.1*	78.5	74.4	69.9	59.1	72.2
論理的にものごとを考える力を高めるため	510	75.1*	87.8*	70.6	69.2	61.8*	72.9
仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	587	69.3	72.2	83.5*	65.8	57.6	73.3
教養を深めるため	409	69.7	76.3	69.7	86.1*	58.2	73.3
これまでの仕事経験を理論的に整理するため	430	67.7	78.1	73.7	68.6	77.7*	77.0
教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	465	72.5	77.2	73.3	71.4	63.4*	84.3*
入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	118	80.5*	78.0	74.6	72.9	58.5	73.7
転職や独立開業に役立てるため	236	73.7	74.2	73.7	69.9	55.5	74.6
大学等の研究者になるため	38	57.9	76.3	63.2	73.7	50.0	76.3
修士卒という肩書を得るため	288	66.0	70.1	68.4	72.6	51.4	73.6
資格取得のため	109	65.1	66.1	70.6	69.7	48.6	65.1
「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	57	59.6	61.4	66.7	70.2	47.4	59.6
その他	39	59.0	74.4	56.4	66.7	56.4	74.4
	n	入学時に在籍していた会社での処遇が向上(昇進・昇給)した	転職や独立開業に役立った	大学等の研究者になれた	資格が取得できた	その他	
全体	777	14.7	15.3	1.7	17.4	2.6	
仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)を身につけるため	508	16.3	14.6	1.4	17.5	2.6	
論理的にものごとを考える力を高めるため	510	17.5	14.7	1.6	16.9	3.1	
仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	587	16.0	16.0	1.9	17.0	2.0	
教養を深めるため	409	14.9	14.4	1.7	18.1	2.4	
これまでの仕事経験を理論的に整理するため	430	16.7	16.3	1.6	15.8	2.3	
教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	465	18.3	14.6	1.5	17.4	3.0	
入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	118	33.9*	15.3	1.7	21.2	1.7	
転職や独立開業に役立てるため	236	14.4	33.9*	2.5	22.5	0.4	
大学等の研究者になるため	38	13.2	15.8	7.9	10.5	0.0	
修士卒という肩書を得るため	288	17.0	20.1	2.8	23.6	2.1	
資格取得のため	109	16.5	19.3	0.0	55.0*	0.0	
「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	57	14.0	22.8	1.8	17.5	5.3	
その他	39	15.4	10.3	0.0	10.3	25.6*	

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、得られたもの・達成したものを選んでください。

Q. (表側)大学院修士課程への入学目的をお答えください。

■入学目的別にみた意識等の変化

- 「論理的にものごとを考える力を高めるため」という入学目的を持っていた人は、「考え方が柔軟になった」という変化があった割合が全体に比べて有意に高い。
- 「これまでの仕事経験を理論的に整理するため」という入学目的を持っていた人は、「自分の職場や職業経験を客観的に見直すことができた」という変化があった割合が全体に比べて有意に高い。
- 「教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため」という入学目的を持っていた人は、「仕事以外のプライベートが充実した」という変化があった割合が全体に比べて有意に高い。
- 「入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため」という入学目的を持っていた人は、「自分の職場や職業経験を客観的に見直すことができた」という変化があった割合が全体に比べて有意に高い。
- 「修士卒という肩書を得るため」という入学目的を持っていた人は、「周囲からの評価が上がった」という変化があった割合が全体に比べて有意に高い。

(複数回答)

	n	自分に対して自信がついた	周囲からの評価が上がった	将来のキャリアパスが明確になった	視野が広がった	考え方が柔軟になった	仕事の効率が上がった	仕事への意欲が高まった
全体	777	73.4	43.5	28.2	82.8	59.3	31.9	37.7
仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)を身につけるため	508	78.1	46.1	31.1	86.6	65.7	37.2	42.9
論理的にものごとを考える力を高めるため	510	77.8	46.1	29.2	88.6*	69.6*	39.6*	45.7*
仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	587	75.5	46.5	28.8	85.3	61.7	34.8	42.2
教養を深めるため	409	76.5	44.7	27.1	88.0	66.5	34.5	41.1
これまでの仕事経験を理論的に整理するため	430	75.6	45.3	28.1	88.4	63.5	37.7	42.8
教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	465	78.3	47.3	28.6	88.4*	65.6	39.4*	45.4*
入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	118	83.1	57.6*	35.6	84.7	66.9	36.4	51.7*
転職や独立開業に役立てるため	236	80.9	50.0	36.0	85.2	63.1	38.6	43.6
大学等の研究者になるため	38	68.4	44.7	39.5	78.9	57.9	36.8	28.9
修士卒という肩書を得るため	288	79.5	55.2*	31.9	83.0	57.3	29.9	36.1
資格取得のため	109	79.8	53.2	37.6	71.6*	56.9	29.4	34.9
「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事忙しい」などの状況から緊急避難するため	57	73.7	36.8	24.6	84.2	68.4	26.3	38.6
その他	39	74.4	25.6	25.6	79.5	64.1	33.3	38.5
	n	仕事以外のプライベートが充実した	自分の職場や職業経験を客観的に見直すことができた	現在勤務する組織への帰属意識が高まった	成長実感が得られた	雇用不安が解消された	学習習慣が身に付いた	その他
全体	777	34.6	64.0	6.8	61.3	6.2	47.4	1.9
仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)を身につけるため	508	37.4	68.3	7.3	67.7	7.7	51.4	1.2
論理的にものごとを考える力を高めるため	510	37.1	72.4*	8.0	66.7	7.1	52.7	1.8
仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	587	35.4	66.4	7.5	65.1	6.1	49.4	1.5
教養を深めるため	409	39.1	69.4	9.0	63.1	6.1	53.5	2.2
これまでの仕事経験を理論的に整理するため	430	39.5	77.2*	8.8	64.0	6.5	53.3	2.1
教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	465	45.4*	72.7*	9.2	69.5*	7.7	54.6	1.9
入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	118	38.1	77.1*	9.3	74.6*	11.0	52.5	0.0
転職や独立開業に役立てるため	236	40.3	73.7*	5.1	69.1	10.6	58.1*	1.3
大学等の研究者になるため	38	44.7	50.0	10.5	73.7	7.9	47.4	5.3
修士卒という肩書を得るため	288	41.0	63.9	6.6	64.6	7.3	51.7	2.4
資格取得のため	109	38.5	59.6	2.8	62.4	8.3	49.5	0.9
「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事忙しい」などの状況から緊急避難するため	57	36.8	71.9	7.0	66.7	7.0	56.1	0.0
その他	39	35.9	69.2	12.8	66.7	5.1	51.3	10.3*

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、以下の変化はありましたか。

Q. (表側)大学院修士課程への入学目的をお答えください。

■ 入学目的別にみた基礎力の変化

- ・「論理的にものごとを考える力を高めるため」という入学目的を持っていた人は、「人と協力しながら物事に取り組む力」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「論理的にものごとを考える力を高めるため」という入学目的を持っていた人は、「目標に向かって人や集団をひっぱる力」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「論理的にものごとを考える力を高めるため」という入学目的を持っていた人は、「課題解決のための計画を立案する力」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「論理的にものごとを考える力を高めるため」という入学目的を持っていた人は、「論理的に物事を分析・構築する力」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため」という入学目的を持っていた人は、「現在の仕事に関する専門的な知識」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため」という入学目的を持っていた人は、「目標に向かって人や集団をひっぱる力」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。

(項目ごとに単一回答)

	n	対人能力			対自己能力			対課題能力		
		円満な人間関係を築く力	人と協力しながら物事に取り組む力	目標に向かって人や集団をひっぱる力	自分の感情をコントロールする力	やる気を維持する力	良い行動を習慣として続けられる力	情報を収集・分析して、課題を発見する力	課題解決のための計画を立案する力	行動を起こし、最後までやりきる力
全体	777	57.8	65.5	56.8	45.0	64.1	66.9	85.3	77.0	65.9
仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)を身につけるため	508	63.2	71.5	62.6	49.2	67.9	70.7	88.2	82.1	70.5
論理的にものごとを考える力を高めるため	510	63.1	72.7*	64.9*	51.2	69.4	71.8	89.8	83.7*	69.4
仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	587	57.6	65.4	57.1	44.1	65.4	68.1	85.2	77.2	66.6
教養を深めるため	409	57.5	65.8	58.7	48.2	66.0	69.7	85.8	78.0	67.2
これまでの仕事経験を理論的に整理するため	430	61.2	66.7	60.9	47.9	67.4	70.2	86.5	78.8	66.3
教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	465	64.5	72.5	62.6	46.7	69.2	74.0	88.6	80.9	69.0
入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	118	69.5	72.9	72.9*	54.2	72.0	71.2	91.5	82.2	73.7
転職や独立開業に役立てるため	236	58.5	70.3	61.9	50.4	65.3	72.5	90.7	80.5	67.4
大学等の研究者になるため	38	50.0	60.5	68.4	55.3	68.4	76.3	86.8	81.6	76.3
修士卒という肩書を得るため	288	56.2	65.3	57.6	44.8	62.8	68.8	87.5	78.1	66.3
資格取得のため	109	63.3	70.6	56.0	44.0	65.1	65.1	84.4	77.1	67.0
「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	57	56.1	66.7	57.9	42.1	52.6	61.4	82.5	70.2	66.7
その他	39	64.1	71.8	69.2	43.6	56.4	64.1	84.6	82.1	66.7
			処理力		思考力		専門力			
	n	文章の構成や要旨を的確に理解する力	データや数字をすばやく読み取る力	論理的に物事を分析・構築する力	独自のものの見方や考え方を考える力	現在の仕事に関する専門的な知識	現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ			
全体	777	78.2	78.2	85.1	71.8	63.6	58.6			
仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力など)を身につけるため	508	81.9	79.9	87.2	76.4	64.6	62.4			
論理的にものごとを考える力を高めるため	510	83.5	81.2	91.6*	77.1	62.2	59.2			
仕事に必要な専門的な知識や技術を身につけるため	587	78.4	79.9	86.4	73.8	70.9*	64.7			
教養を深めるため	409	80.2	79.2	87.3	76.3	60.9	55.0			
これまでの仕事経験を理論的に整理するため	430	79.8	80.7	87.4	75.3	64.0	61.2			
教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させるため	465	81.3	81.7	88.6	76.1	63.2	59.6			
入学時に在籍していた会社での処遇の向上(昇進・昇給)のため	118	82.2	84.7	90.7	78.0	68.6	64.4			
転職や独立開業に役立てるため	236	78.8	84.3	88.1	74.6	61.9	56.4			
大学等の研究者になるため	38	76.3	73.7	92.1	84.2	78.9	68.4			
修士卒という肩書を得るため	288	78.5	80.2	86.5	74.7	71.2	60.1			
資格取得のため	109	81.7	78.9	83.5	71.6	67.9	54.1			
「転職先が見つからない」「仕事がつまらない」「仕事が忙しい」などの状況から緊急避難するため	57	77.2	78.9	73.7	71.9	59.6	54.4			
その他	39	76.9	76.9	82.1	71.8	41.0*	38.5			

Q. (表頭)大学院修士課程での学習によって、以下の能力はどの程度高まったと思いますか。

※基礎力の向上の程度を「とても高まった・高まった・どちらともいえない・あまり高まらなかった・高まらなかった」の5件法で回答してもらったが、上位2つまでを「高まった」として合計した割合を使用。

Q. (表側)大学院修士課程への入学目的をお答えください。

■学習姿勢別にみた学習成果

- ・「学習以外でも、同級生などと積極的に交流した」という学習姿勢だった人は、「教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した」という学習姿勢だった人は、「教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力などが身についた)	論理的なものごとを考える力が高められた	仕事に必要な専門的な知識や技術が身についた	教養が深められた	これまでの仕事を経験を理論的に整理することができた	教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた
全体	777	66.0	72.2	70.4	66.2	53.8	69.9
座学形式の授業を熱心に受講した	685	65.3	71.5	72.1	68.2	54.0	70.7
ディスカッション形式の授業・ゼミで積極的に発言した	677	67.8	74.6	72.5	66.2	56.9	72.4
与えられたレポートや課題を着実にこなした	752	66.4	73.0	70.7	66.6	54.8	70.6
授業以外でも教員に対して、積極的に質問や意見交換を行った	578	69.4	76.6	73.0	66.4	56.7	73.0
教員に紹介された参考文献を進んで読んだ	657	68.0	74.4	71.4	66.8	56.0	72.0
予習・復習などのため、自分一人ですっかり学習した	696	67.2	74.1	71.3	66.4	56.0	70.7
予習・復習などのため、同級生などと一緒に学習した	550	67.5	75.3	70.4	67.5	56.9	75.8
学習以外でも、同級生などと積極的に交流した	627	68.3	73.5	73.0	66.3	56.8	78.0*
ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した	534	69.7	76.2	73.8	67.0	58.8	77.0*
大学院の図書館・コンピュータ端末などの施設を積極的に利用した	571	65.5	71.8	72.3	66.2	57.4	72.7
	n	入学時に在籍していた会社での処遇が向上(昇進・昇給)した	転職や独立開業に役立った	大学等の研究者になった	資格が取得できた	その他	
全体	777	14.7	15.3	1.7	17.4	2.6	
座学形式の授業を熱心に受講した	685	13.4	15.2	1.5	17.5	2.8	
ディスカッション形式の授業・ゼミで積極的に発言した	677	16.1	15.1	1.9	17.7	2.5	
与えられたレポートや課題を着実にこなした	752	15.0	15.4	1.7	17.8	2.7	
授業以外でも教員に対して、積極的に質問や意見交換を行った	578	16.8	16.3	1.7	16.8	2.9	
教員に紹介された参考文献を進んで読んだ	657	15.4	15.7	1.8	16.3	2.6	
予習・復習などのため、自分一人ですっかり学習した	696	15.1	16.1	1.4	17.1	2.6	
予習・復習などのため、同級生などと一緒に学習した	550	16.4	16.7	1.5	18.4	3.1	
学習以外でも、同級生などと積極的に交流した	627	16.3	15.9	1.9	17.7	2.6	
ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した	534	17.4	15.2	2.1	17.6	3.0	
大学院の図書館・コンピュータ端末などの施設を積極的に利用した	571	14.7	16.5	1.9	17.7	2.5	

- Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、得られたもの・達成したものを選んでください。
 Q. (表側)以下の項目は、あなたの大学院修士課程での学習姿勢にどの程度あてはまりますか。

■学習姿勢別にみた意識等の変化

・意識等の変化は、学習姿勢による大きな違いはなかった。

(複数回答)

	n	自分に 対して自 信があつ た	周囲から の評価 があつた	将来の キャリア パスが 明確に あつた	視野が あつた	考え方 が柔軟 にあつた	仕事の 効率があ つた	仕事へ の意欲 があつた
全体	777	73.4	43.5	28.2	82.8	59.3	31.9	37.7
座学形式の授業を熱心に受講した	685	73.1	44.7	27.9	83.5	59.6	29.3	36.9
ディスカッション形式の授業・ゼミで積極的に発言した	677	75.9	43.6	29.1	83.3	60.7	34.6	40.2
与えられたレポートや課題を着実にこなした	752	73.9	44.1	28.1	83.1	59.8	32.6	38.6
授業以外でも教員に対して、積極的に質問や意見交換を行った	578	76.0	45.5	29.9	84.4	62.5	35.6	41.0
教員に紹介された参考文献を進んで読んだ	657	75.0	44.9	28.3	85.2	61.2	33.6	40.2
予習・復習などのため、自分一人ですっかり学習した	696	75.0	45.7	28.3	83.0	60.2	32.5	39.4
予習・復習などのため、同級生などと一緒に学習した	550	76.9	47.3	29.8	85.1	62.2	35.6	42.2
学習以外でも、同級生などと積極的に交流した	627	75.9	45.8	29.5	85.0	61.2	34.3	41.3
ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した	534	77.7	47.9	30.0	86.0	64.2	35.8	43.6
大学院の図書館・コンピュータ端末などの施設を積極的に利用した	571	74.8	44.7	28.4	83.5	59.7	31.0	39.9
	n	仕事以 外のプ ライベ ートが 充実し た	自分の 職場や 職業経 験を客 観的に 見直す ことが できた	現在勤 務する 組織へ の帰属 意識が あつた	成長実 感を得 られた	雇用不 安が解 消され た	学習習 慣が身 に付い た	その他
全体	777	34.6	64.0	6.8	61.3	6.2	47.4	1.9
座学形式の授業を熱心に受講した	685	35.0	63.1	7.0	60.7	5.4	46.4	1.9
ディスカッション形式の授業・ゼミで積極的に発言した	677	35.5	65.1	7.4	63.8	6.9	49.2	1.9
与えられたレポートや課題を着実にこなした	752	35.0	64.6	6.9	62.1	6.4	48.0	1.7
授業以外でも教員に対して、積極的に質問や意見交換を行った	578	36.9	64.2	7.3	64.5	6.6	49.1	1.7
教員に紹介された参考文献を進んで読んだ	657	35.5	66.1	7.2	63.6	6.1	48.6	1.7
予習・復習などのため、自分一人ですっかり学習した	696	35.2	64.4	7.0	62.4	5.6	48.7	1.6
予習・復習などのため、同級生などと一緒に学習した	550	38.4	66.5	6.5	64.4	7.6	51.3	1.5
学習以外でも、同級生などと積極的に交流した	627	39.1	64.8	7.7	64.3	6.5	49.8	1.4
ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した	534	39.5	66.1	7.9	67.4	7.9	50.9	1.9
大学院の図書館・コンピュータ端末などの施設を積極的に利用した	571	36.1	65.3	7.4	61.6	5.6	49.4	1.4

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、以下の変化はありましたか。

Q. (表側)以下の項目は、あなたの大学院修士課程での学習姿勢にどの程度あてはまりますか。

■学習姿勢別にみた基礎力の変化

- ・「予習・復習などのため、同級生などと一緒に学習した」という学習姿勢だった人は、「人と協力しながら物事に取り組む力」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「予習・復習などのため、同級生などと一緒に学習した」という学習姿勢だった人は、「目標に向かって人や集団をひっぱる力」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した」という学習姿勢だった人は、「文章の構成や要旨を的確に理解する力」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。
- ・「ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した」という学習姿勢だった人は、「論理的に物事を分析・構築する力」と回答した人の割合が全体に比べて有意に高い。

(項目ごとに単一回答)

	n	対人能力			対自己能力			対課題能力		
		円満な人間関係を築く力	人と協力しながら物事に取り組む力	目標に向かって人や集団をひっぱる力	自分の感情をコントロールする力	やる気を維持する力	良い行動を習慣として続けられる力	情報を収集・分析して、課題を発見する力	課題解決のための計画を立案する力	行動を起こし、最後までやりきる力
全体	777	57.8	65.5	56.8	45.0	64.1	66.9	85.3	77.0	65.9
座学形式の授業を熱心に受講した	685	59.1	65.4	56.4	44.5	64.5	68.0	85.5	77.5	66.4
ディスカッション形式の授業・ゼミで積極的に発言した	677	60.6	69.1	60.4	46.8	66.9	70.3	87.1	78.9	67.9
与えられたレポートや課題を着実にこなした	752	58.2	66.1	57.7	45.7	64.9	67.7	85.9	78.1	66.4
授業以外でも教員に対して、積極的に質問や意見交換を行った	578	62.5	70.2	63.5	49.5	68.5	72.3	88.2	81.3	69.7
教員に紹介された参考文献を進んで読んだ	657	59.2	67.4	59.5	47.2	65.9	69.4	87.5	80.1	68.3
予習・復習などのため、自分一人ですっかり学習した	696	58.3	66.4	58.0	45.3	65.8	69.3	86.8	78.3	66.8
予習・復習などのため、同級生などと一緒に学習した	550	64.7	73.8*	64.0*	50.7	69.8	71.8	88.0	81.3	69.8
学習以外でも、同級生などと積極的に交流した	627	62.7	70.2	60.9	47.7	68.4	71.8	88.2	81.0	69.7
ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した	534	62.4	69.7	61.8	48.3	69.7	73.2	88.8	82.6	71.2
大学院の図書館・コンピュータ端末などの施設を積極的に利用した	571	58.3	66.2	57.4	46.9	65.3	70.1	85.8	77.9	68.8
	n	処理力		思考力		専門力				
		文章の構成や要旨を的確に理解する力	データや数字をすばやく読み取る力	論理的に物事を分析・構築する力	独自のものの見方や考え方をすすめる力	現在の仕事に関する専門的な知識	現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ			
全体	777	78.2	78.2	85.1	71.8	63.6	58.6			
座学形式の授業を熱心に受講した	685	78.8	79.0	85.0	72.0	65.5	60.0			
ディスカッション形式の授業・ゼミで積極的に発言した	677	79.9	79.9	87.6	74.0	64.0	60.1			
与えられたレポートや課題を着実にこなした	752	78.9	79.0	85.4	72.2	64.0	59.3			
授業以外でも教員に対して、積極的に質問や意見交換を行った	578	82.2	82.2	88.8	74.9	65.7	62.3			
教員に紹介された参考文献を進んで読んだ	657	81.4	80.7	86.9	73.7	64.4	60.3			
予習・復習などのため、自分一人ですっかり学習した	696	79.3	80.2	86.9	72.3	63.9	59.2			
予習・復習などのため、同級生などと一緒に学習した	550	82.2	83.1	88.0	74.4	63.5	60.0			
学習以外でも、同級生などと積極的に交流した	627	80.9	82.3	88.2	75.1	65.9	62.2			
ゼミや自主的な学内外の研究会に進んで参加した	534	84.8*	83.9	90.3*	77.2	67.0	64.0			
大学院の図書館・コンピュータ端末などの施設を積極的に利用した	571	80.4	81.8	86.3	74.4	65.1	60.8			

Q. (表頭)大学院修士課程での学習によって、以下の能力はどの程度高まったと思いますか。
 ※基礎力の向上の程度を「とても高まった・高まった・どちらともいえない・あまり高まらなかった・高まらなかった」の5件法で回答してもらったが、上位2つまでを「高まった」として合計した割合を使用。

Q. (表側)以下の項目は、あなたの大学院修士課程での学習姿勢にどの程度あてはまりますか。

■修士論文の作成の有無別にみた学習成果

•修士論文に取り組んだ方が、「教員や同級生などと交流し、人的ネットワークを充実させた」割合は大きい。

(複数回答)

	n	仕事に必要な基礎的なスキル(コミュニケーション能力や問題解決能力などが身についた)	論理的にもものごとを考える力が高められた	仕事に必要な専門的な知識や技術が身についた	教養が深められた	これまでの仕事経験を理論的に整理することができた	教員や同級生などとの交流し、人的ネットワークを充実させた	入学時に在籍していた会社での処遇が向上(昇進・昇給)した	転職や独立開業に役立った	大学等の研究者になった	資格が取得できた	その他
全体	777	66.0	72.2	70.4	66.2	53.8	69.9	14.7	15.3	1.7	17.4	2.6
修了要件だったので、取り組んだ	534	65.5	73.4	68.9	65.4	55.1	72.1	14.6	14.6	1.9	16.1	2.2
修了要件ではなかったが、取り組んだ	96	69.8	81.2	81.2	71.9	61.5	71.9	19.8	21.9	2.1	20.8	2.1
取り組んでいない	147	65.3	61.9	68.7	65.3	44.2	60.5	11.6	13.6	0.7	19.7	4.1

Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、得られたもの・達成したものを選んでください

Q. (表側)修士論文(修了レポート形式も含む)に、在学中取り組みましたか。

■修士論文の作成の有無別にみた意識等の変化

- 修士論文に取り組んだ方が、「視野が広がった」割合は大きい。
- 修士論文に取り組んだ方が、「自分の職場や職業経験を客観的に見直すことができた」割合は大きい。

(複数回答)

	n	自分に対して自信がついた	周囲からの評価が上がった	将来のキャリアパスが明確になった	視野が広がった	考え方が柔軟になった	仕事の効率が上がった	仕事への意欲が高まった
全体	777	73.4	43.5	28.2	82.8	59.3	31.9	37.7
修了要件だったので、取り組んだ	534	73.2	43.1	25.8	83.7	60.1	30.1	37.8
修了要件ではなかったが、取り組んだ	96	71.9	51.0	36.5	85.4	61.5	41.7	36.5
取り組んでいない	147	74.8	40.1	31.3	77.6	55.1	32.0	38.1
	n	仕事以外のプライベートが充実した	自分の職場や職業経験を客観的に見直すことができた	現在勤務する組織への帰属意識が高まった	成長実感を得られた	雇用不安が解消された	学習習慣が身に付いた	その他
全体	777	34.6	64.0	6.8	61.3	6.2	47.4	1.9
修了要件だったので、取り組んだ	534	33.5	66.3	6.9	61.2	5.8	46.8	2.2
修了要件ではなかったが、取り組んだ	96	42.7	61.5	9.4	60.4	6.2	55.2	2.1
取り組んでいない	147	33.3	57.1	4.8	61.9	7.5	44.2	0.7

- Q. (表頭)大学院修士課程で学習することによって、以下の変化はありましたか。
 Q. (表側)修士論文(修了レポート形式も含む)に、在学中取り組みましたか。

■修士論文の作成の有無別にみた基礎力の変化

- 修士論文に取り組んだ方が、「文章の構成や要旨を的確に理解する力」が大学院の学習で高まった割合は大きい。
- 修士論文に取り組んだ方が、「データや数字をすばやく読み取る力」が大学院の学習で高まった割合は大きい。
- 修士論文に取り組んだ方が、「論理的に物事を分析・構築する力」が大学院の学習で高まった割合は大きい。
- 修士論文に取り組んだ方が、「独自のものの見方や考え方をする力」が大学院の学習で高まった割合は大きい。

(項目ごとに単一回答)

	n	対人能力			対自己能力			対課題能力		
		円満な人間関係を築く力	人と協力しながら物事に取り組む力	目標に向かって人や集団をひっぱる力	自分の感情をコントロールする力	やる気を維持する力	良い行動を習慣として続けられる力	情報を収集・分析して、課題を発見する力	課題解決のための計画を立案する力	行動を起こし、最後までやりきる力
全体	777	57.8	65.5	56.8	45.0	64.1	66.9	85.3	77.0	65.9
修了要件だったので、取り組んだ	534	57.3	65.9	56.6	44.0	63.9	66.9	86.5	78.3	67.4
修了要件ではなかったが、取り組んだ	96	57.3	58.3	59.4	45.8	67.7	68.8	82.3	76.0	65.6
取り組んでいない	147	59.9	68.7	55.8	48.3	62.6	66.0	83.0	72.8	60.5
	n	処理力		思考力		専門力				
	n	文章の構成や要旨を的確に理解する力	データや数字をすばやく読み取る力	論理的に物事を分析・構築する力	独自のものの見方や考え方をする力	現在の仕事に関する専門的な知識	現在の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ			
全体	777	78.2	78.2	85.1	71.8	63.6	58.6			
修了要件だったので、取り組んだ	534	80.0	78.8	86.3	74.7	62.0	58.1			
修了要件ではなかったが、取り組んだ	96	79.2	83.3	88.5	70.8	72.9	66.7			
取り組んでいない	147	71.4	72.8	78.2	61.9	63.3	55.1			

- Q. (表頭)大学院修士課程での学習によって、以下の能力はどの程度高まったと思いますか。
 ※基礎力の向上の程度を「とても高まった・高まった・どちらともいえない・あまり高まらなかった・高まらなかった」の5件法で回答してもらったが、上位2つまでを「高まった」として合計した割合を使用。
- Q. (表側)修士論文(修了レポート形式も含む)に、在学中取り組みましたか。

国内経営学系大学院修了生に関する調査 報告書
2011年5月27日

株式会社リクルート ワークス研究所

<http://www.works-i.com>

〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー

本報告書に関するお問い合わせ先:兵藤郷 sato_hyodo@r.recruit.co.jp

©株式会社リクルート 本冊子記事の無断複製転載を禁じます

Works Report 2010

国内経営学系大学院修了生に関する調査 報告書

株式会社リクルート ワークス研究所
〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2
グラントウキョウサウスタワー
TEL 03-6835-9200

RECRUIT